

誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして
～一人ひとりが主役・共に支えあうまちづくり～



緑区地域福祉保健計画・地域福祉活動計画

みどりの さえ愛プラン わ

— 地域での取り組み概況 <平成 21 年度版> —

「みどりのわ・ささえ愛プラン」地域での取り組み概況（平成21年度版）について

「誰もが年をとっても、障がいがあっても、ひとりになっても、住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりの実現」を目指す、緑区地域福祉保健計画・地域福祉活動計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』（計画期間：平成18年度～22年度、以下「第1期プラン」）は、平成21年度で計画期間の4年目を迎えました。

「第1期プラン」の進捗状況の把握や進行管理、及び推進に向けた活発な意見交換を行ってきた「みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会」は、平成21年度から「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」と名称を改め、「第2期プラン」（計画期間：平成23年度から27年度）の策定に向けた準備に着手しました。

本資料は、緑区における**各地域での取り組み・活動**が「第1期プラン」の**基本目標・小目標**に向けどのように拡大しているかをご覧くださいとともに、地区における地域福祉の今後の展開・飛躍に向けての参考資料としていただきたいと考え、平成18年度から毎年発行している「地域の概況」を更新し、**計画4年目における報告**とさせていただきます。

緑区役所・緑区社会福祉協議会・地域ケアプラザは、「第1期プラン」を推進するための取り組みを区民の皆様との協働で進めてまいりましたが、次の「第2期プラン」では、**より身近な11地区別の計画策定**に取り組みます。

そのための方策として、**地区懇談会でのPR、地区支援チームの立ち上げ、地区別計画策定委員会・地区別計画策定連絡会の開催**など、平成23年度の計画策定に向けた取り組みを始めています。

今年度実施した**区民3,000人を対象とした区民アンケートの結果**や、**地区支援のさまざまな取り組み**について、本資料で詳細をご報告いたします。

〈「地域での取り組み概況」の見方〉

各地区における取り組み状況について、継続した取り組み・活動に加えて、推進ワーキング会議（地域ケアプラザ別）で把握できた情報を次のとおり追記しました。

〈記載例〉

- ◆平成21年度に廃止となった活動 **廃止の活動**（取り消し線で斜字体）
- ◆平成21年度に新しく把握できた活動 **新しい活動**（斜字体）



表紙：『みどりのわ・ささえ愛プラン』ロゴマーク

ハートは心の豊かさを、その中で3人のひとが手をつないで支えあっている様子を表しています。

目 次

I	みどりのわ・ささえ愛プラン 基本目標・小目標・具体的な取り組み	P. 1
II	みどりのわ・ささえ愛プランの概要と平成 21 年度の取り組み	P. 2
III	地域での取り組み概況	P. 4
1	各地区における取り組み状況	
①	緑区人口ピラミッドの変化	P. 5
②	東本郷地域ケアプラザエリア ・東本郷地区	P. 6
③	鴨居地域ケアプラザエリア ・鴨居地区 ・竹山地区 ・白山地区	P.12 P.16 P.20
④	中山地域ケアプラザエリア ・新治中部地区 ・三保地区	P.24 P.28
⑤	ふじ寿か園エリア ・山下地区	P.32
⑥	十日市場地域ケアプラザエリア ・新治西部地区 ・十日市場団地地区	P.36 P.41
⑦	霧が丘地域ケアプラザエリア ・霧が丘地区	P.45
⑧	長津田地域ケアプラザエリア ・長津田地区	P.49
2	区全体での取り組み状況（区役所、区社協、拠点）	P.54
IV	協働で計画を推進するための事業について	
1	「地区別計画策定ステップ事業」報告	P.58
2	「地区ボランティアセンター」設置運営報告	P.60
3	「オトナの一期一会」開催報告	P.61
4	「緑ハートバリアフリー実行委員会」活動報告	P.62
V	「住民が創り出す地域の未来～第 2 期計画策定に向けて～」講演会報告 （緑区社会福祉大会第 2 部「みんなで進めよう！みどりのわ・ささえ愛プラン」：平成 22 年 2 月開催）	P.63
VI	「みどりのわ・ささえ愛プラン」区民アンケート調査結果報告 〔参考〕アンケート調査票	P.65 P.69
VII	資料	
1	「みどりのわ・ささえ愛プラン」推進策定委員会規約	P.79
2	「みどりのわ・ささえ愛プラン」地区別計画策定委員会規約	P.80

1. みどりのわ・ささえ愛プラン 基本目標・小目標・具体的な取り組み

基本目標	小目標	具体的な取り組み
1 地域での「つながり」を大切にすまちづくり(つながり)		
	1	住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。 1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。 2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。
2 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり(人材・担い手)		
	1	身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。 1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。 2 区社協(ボランティア相談コーナー)で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。
	2	ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。 1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。 2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。
	3	障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。 1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。 2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。 3 障がい児・者の地域生活支援(余暇支援など)のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。
	4	思いやりのある人を育てる地域をつくります。 1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。 2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。 3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。
3 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり(機会・場)		
	1	身近な「場」を有効活用できるようにします。 1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。 2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。(店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用) 3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。
	2	同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。 1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。 2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。
	3	世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。 1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。 2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に活動できる「場」の活用をすすめます。
4 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり(情報)		
	1	困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。 1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。 2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。 3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。 4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。
	2	福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。 1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。 2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。 3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。 4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。 5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。 6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。
	3	誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。 1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。 2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。
	4	支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。 1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。 2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。 3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。
5 「安心・安全・健康」のまちづくり(安心・安全・健康)		
	1	災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。 1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。 2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。 3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。 4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。
	2	誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。 1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。 2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えています。
	3	誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。 1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。 2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広がっていきます。 3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。

II. みどりのわ・ささえ愛プランの概要と平成 21 年度の取り組み

■地域福祉保健計画・地域福祉活動計画とは

年をとっても、障がいがあっても、ひとりになっても、わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、**区民、団体、事業者、社協、区役所が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画**です。

緑区では、区役所が中心となって策定する「**地域福祉保健計画**」と地域福祉の推進役である社会福祉協議会が中心となって策定する「**地域福祉活動計画**」について**一体的に策定**しました。

この計画は**平成 18 年度から平成 22 年度までの 5 か年を計画期間**としています。

■第 1 期計画策定の経過

緑区では、平成 16 年度からの 2 カ年の間で、11 連合自治会単位で 3 回ずつ開催した**地区別意見交換会**（延べ約 1,200 人参加）や**分野別団体別インタビュー**（31 団体、延べ約 420 人参加）、**区民アンケート**（3,000 人送付）を実施し、そこで出されたさまざまな意見を、「**つながり**」「**人材・担い手**」「**機会・場**」「**情報**」「**安心・安全・健康**」の**5 つのキーワード**に分類し、各団体の代表者や公募委員、学識経験者で構成する策定委員会で検討を行いました。

その結果、「**誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして～一人ひとりが主役・共に支えあうまちづくり～**」を**基本理念**に、上記キーワードを核とした**5 つの基本目標**と**15 の小目標**を設定し、計画を策定しました。

■第 2 期計画の構成・期間

第 2 期横浜市地域福祉保健計画の策定を受け、**第 2 期緑区地域福祉保健計画（第 2 期みどりのわ・ささえ愛プラン）**も、第 1 期計画と同様に緑区社会福祉協議会の**地域福祉活動計画**との**一体的な計画**として策定します。第 2 期計画の策定時期は**平成 23 年 3 月**、計画期間は**平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 か年間**とします。

第 2 期計画は、平成 22 年度で計画期間が終了する第 1 期計画の振り返り・評価を踏まえての**区計画**と、**区内 11 地区**で策定する**地区別計画**とで構成します。

<区計画、市計画、市地域福祉活動計画の計画期間>

健康福祉局 第 2 期区地域福祉保健計画策定・推進指針(案)より

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
区計画	7区 ※1	第 1 期計画期間					第 2 期計画期間(6年間)						第 3 期計画期間	
		11区 ※2	第 1 期計画期間				第 2 期計画期間(5年間)							
市計画	第 1 期計画期間					第 2 期計画期間						第 3 期計画期間		
活動計画 (市社協)	第 1 期	第 2 期計画期間				第 3 期計画期間								

※1 先行:鶴見区、神奈川区、西区、南区、青葉区、栄区、泉区

※2 後続:中区、港南区、保土ヶ谷区、旭区、磯子区、金沢区、港北区、緑区、都筑区

■第2期計画策定に向けた平成21年度の取り組み

～ 地区懇談会における周知 ～

平成21年度の地区懇談会（各連合自治会単位で開催）において、みどりのわ・ささえ愛プランのPRを行いました。スライドを活用して、みどりのわ・ささえ愛プランの概要、5つの基本目標、各地区の代表的な取り組み、第2期計画策定に向けた方向性等を説明しました。11連合地区の懇談会では、延417人の地域の方に参加していただきました。

<スライドの抜粋>



～ 地区支援チームの立ち上げ ～

区・区社協・地域ケアプラザ（ふじ寿か園含む）の各職員で構成する「地区支援チーム」を平成21年11月に立ち上げました。

地区別計画策定や地域の取り組みの推進に向けて地区を支援していきます。



～ 地区別計画策定委員会の開催 ～

地区別計画は、区内11地区ごとに地域の皆さんによる「地区別計画策定委員会」において策定します。平成22年1月から各地区で第1回目の「地区別計画策定委員会」を開催しています。今までに合計150名程の委員の皆さんが出席し、地区の現状や課題について話し合いをしています。

平成22年度も引き続き「地区別計画策定委員会」を開催し、地区別計画を策定していきます。

～ 地区別計画策定連絡会の開催 ～

平成21年12月21日に「第1回地区別計画策定連絡会」を開催しました。

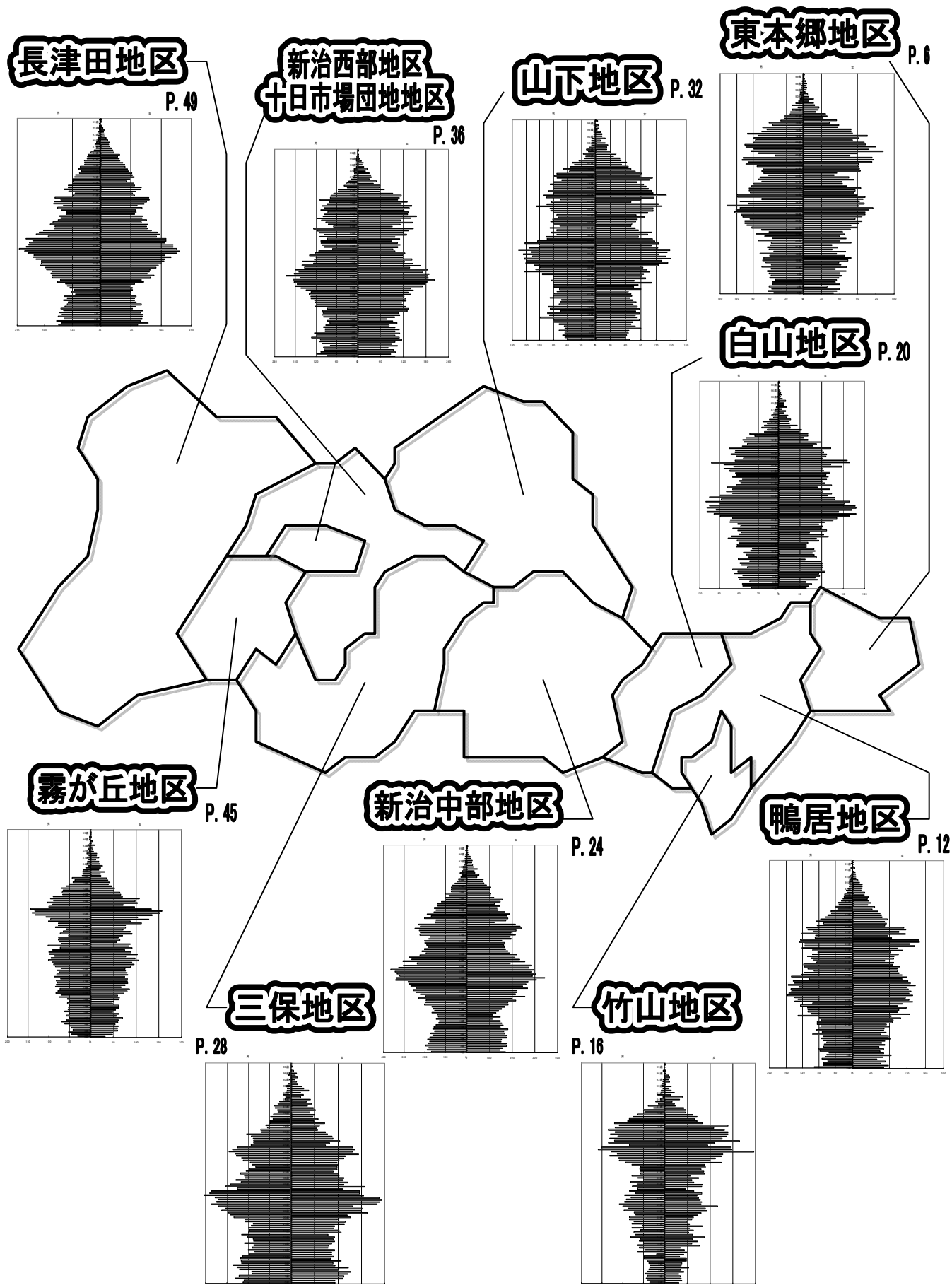
各地区の委員会から委員長や連絡担当者、地区支援チームのチームリーダーなど合計34名が出席し、地区別計画策定に向けた各地区での委員会開催の主旨や、今後のスケジュールの説明、顔合わせ等を行いました。

今後も、地区別計画策定のための情報共有や意見交換を行うため、「地区別計画策定連絡会」を開催していきます。

III. 地域での取り組み概況

1 各地区における取り組み状況

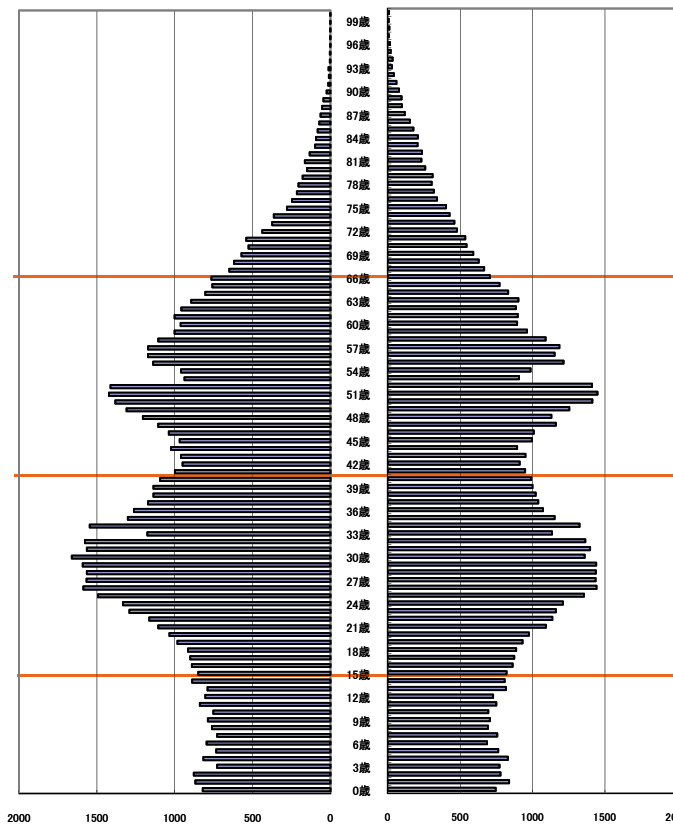
下記のグラフは、平成 21 年 9 月末での地区別人口ピラミッドです。
詳細は各ページをご覧ください。



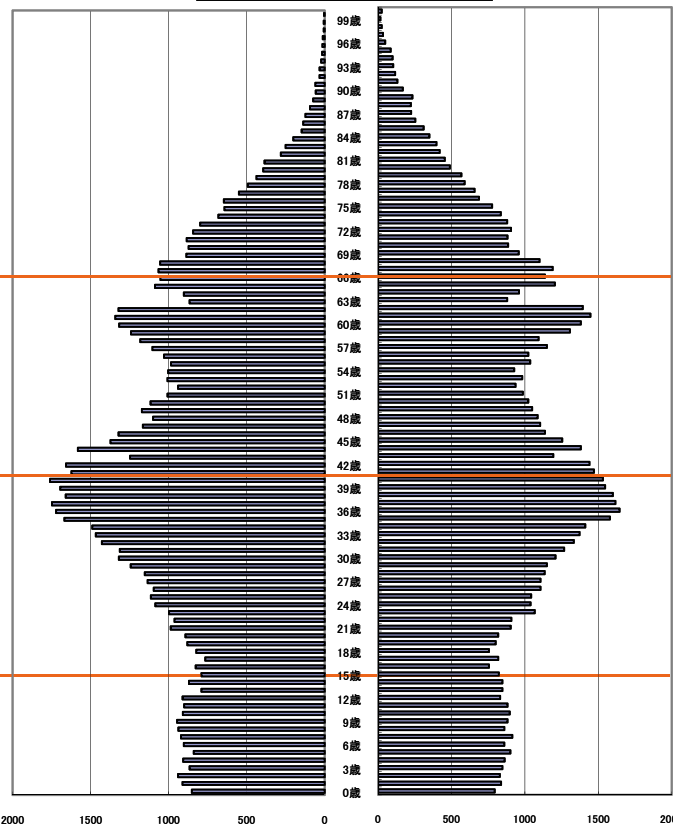
出所(各ページで同じ): 横浜市統計ポータルサイト <http://www.city.yokohama.jp/me/stat/> 町丁別年齢別男女別人口

緑区人口ピラミッドの変化

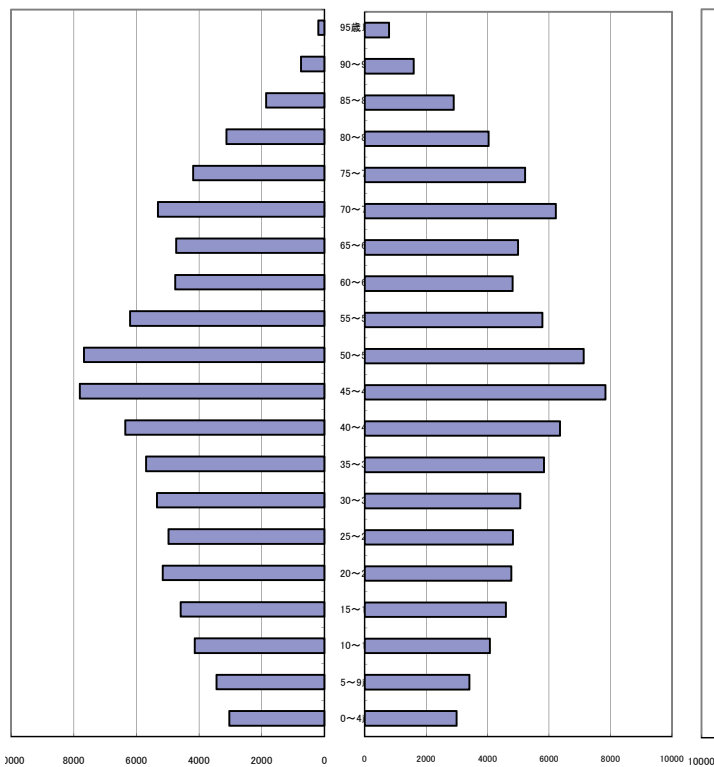
平成11年(1999年)9月末



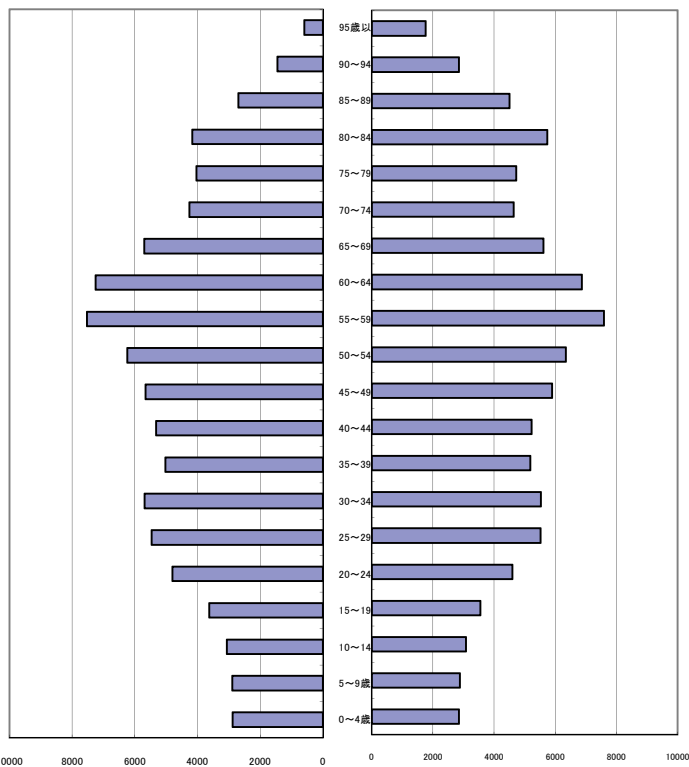
平成21年(2009年)9月末



2020年推計値



2030年推計値



推計値 出所: 横浜市統計ポータルサイト <http://www.city.yokohama.jp/me/stat/> 将来人口推計(基準時点2005年)

東本郷地区

〈地域〉 東本郷町、東本郷1～6丁目

〈緑区・横浜市との比較〉

- ・ 高齢化率22.62%は、緑区の17.99%より4.63%、横浜市の19.25%より3.37%、それぞれ高くなっている。
- ・ 生産年齢人口(15歳～64歳)の割合64.07%は、緑区の67.14%より3.07%、横浜市の67.29%より3.22%、それぞれ低くなっている。

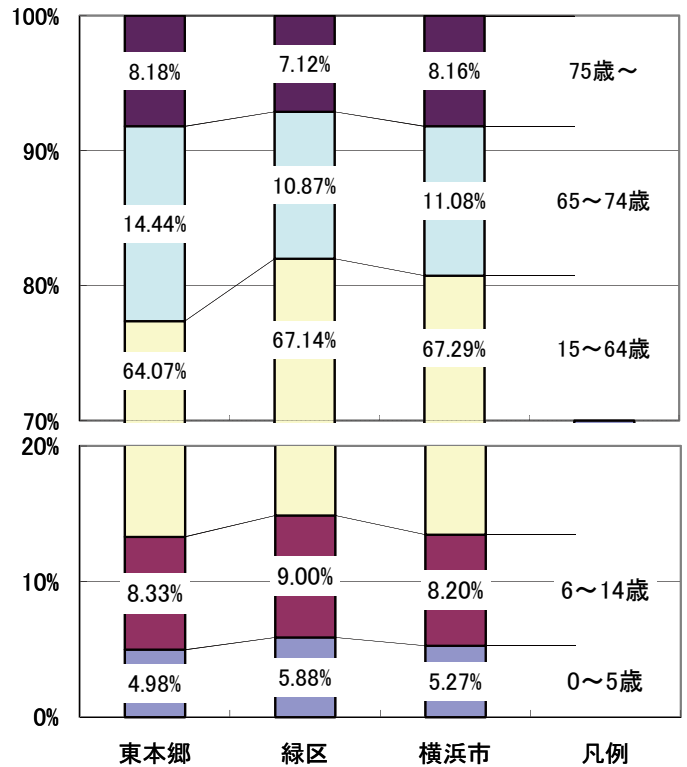
〈年齢区分別人口〉

平成21年(2009年)9月末

	東本郷	緑区	横浜市
75歳～	1,084人	12,572人	301,506人
65～74歳	1,913人	19,193人	409,330人
15～64歳	8,490人	118,565人	2,485,354人
6～14歳	1,104人	15,897人	302,685人
0～5歳	660人	10,378人	194,509人
合計	13,251人	176,605人	3,693,384人
高齢化率	22.62 %	17.99 %	19.25 %

〈年齢区分別人口の割合〉

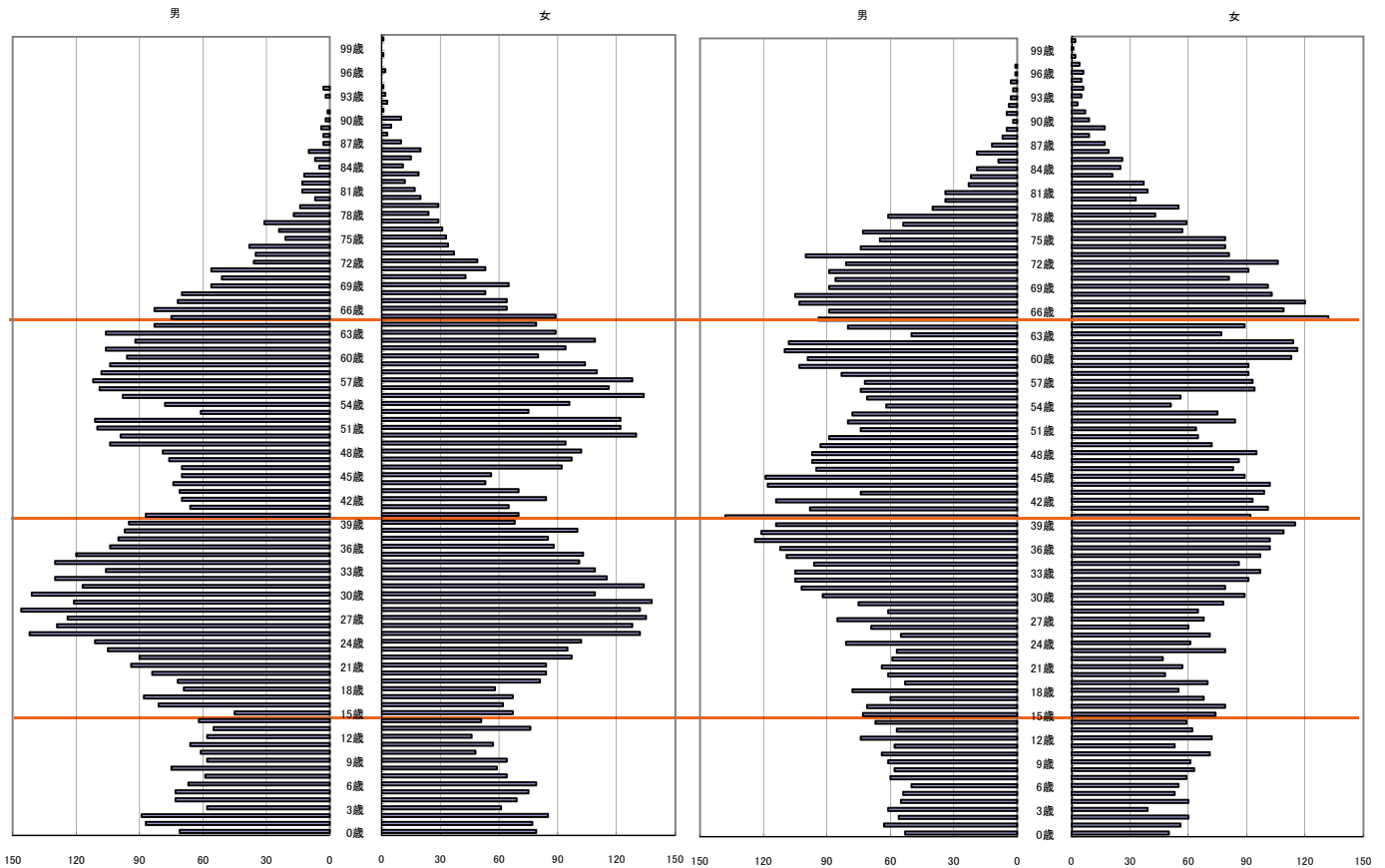
平成21年(2009年)9月末



〈人口ピラミッドの変化〉

平成11年(1999年)9月末

平成21年(2009年)9月末



【東本郷地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	小学校PTA、地区社協、連合自治会	一般	小学校で開催している「ヒガホンまつり」において、地区社協、連合自治会等協働で開催（継続）
			小学校PTA、地区社協、連合自治会	一般	連合夏祭り、各地区夏祭り(継続)
			青少年指導員、体育指導委員、自治会、中学校	一般	クリーン大作戦（継続）
			日鋼自治会	こども	日鋼みこし祭り(継続)
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	小学校PTA、地区社協、連合自治会	一般	小学校で開催している「ヒガホンまつり」において、地域の福祉活動の紹介等（継続）
			地区社協	一般	地区社協ニュース・ホームページ(継続)
		地区社協	一般	ステップ事業（新規）	
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協	一般	東本郷ボランティアセンターの活動（継続）
			区社協	一般	ボランティアコーディネーター研修(継続)
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地域ケアプラザ・ボランティア団体	一般	ボランティア研修（新規）→22年1月実施
			福祉保健活動団体、地域ケアプラザ、区役所	一般	HP「みどり ひと・まちナビ」へ情報登録実施（継続）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	地区社協	一般	ホームページで情報提供（継続）
		地域ケアプラザ	一般	ホームページで情報提供（継続）	
3	1 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地域ケアプラザ、障がい児・者団体、特別支援学校、区役所、区社協	障がい	みんなで歩こう会実行委員会（継続）
			地域ケアプラザ・横浜市移動サービス協議会	障がい	ガイドボランティア研修（新規）
			地域ケアプラザ	一般	「こころの病を知る」講座（継続）
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地区社協	一般	東本郷ボランティアセンターの活動（継続）
			地域ケアプラザ	一般	ボランティアコーディネイト(継続)
			民生委員・児童委員	障がい	グループひろ(継続)
			特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業(新規)
	3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	地域ケアプラザ・当事者	障がい	かもかもクラブ（障がい者余暇支援）お料理教室（継続）	
		地域ケアプラザ	障がい	歩こう会(継続)	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【東本郷地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
2	4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	地区社協、民生委員・児童委員	こども	ふれあいタイム（小学生との昼食会、交流会など）（継続）	
			小中学校、PTA、地域のボランティア団体、地域ケアブラザ	こども	福祉体験・施設見学などの協力	
			小学校、地区社協、地域ケアブラザ	こども	「ヒガホンまつり」への協力（継続）	
			養護学校・地域ケアブラザ	こども	緑養護学校へ行ってみよう（新規）	
			地域ケアブラザ	こども	夏休みボランティア体験（新規）	
			福祉保健活動団体	こども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）	
2	1 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	2 学校ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	小学校PTA、地区社協、連合自治会	一般	小学校で開催している「ヒガホンまつり」を地区社協、連合自治会等協働で開催（継続）	
			小学校PTA、地区社協、連合自治会	一般	小学校で開催している「ヒガホンまつり」を地区社協、連合自治会等協働で開催（継続）	
			3 学校、地区センター、地域ケアブラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	みどり養護学校、地域ケアブラザ	一般	陶芸体験教室（継続）
			地域ケアブラザ・保健活動推進員	一般	健康チェック（継続）	
			2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—
			3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	福祉保健活動団体 区役所、区社協	こども	子育てお助けBOOK（継続）—
2	同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。 2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地域ケアブラザ	一般	ケアブラザ新聞「たんぼぼ」（継続） 介護者向け広報紙「ほっと便り」（継続） 特定高齢者向けにっこり通信（継続） ケアワン通信（継続）	
			東本郷ばらの自治会	一般	ラジオ体操（東本郷第一公園、通称：ふた公園）（継続）	
			福祉保健活動団体	一般	クラシックギター（継続）	
			保健活動推進委員	一般	ヨガ教室（継続）	
			福祉保健活動団体	一般	緑そば打ち会（継続） 東本郷そば打ち同好会（継続）	
			当事者	一般	コーラス（継続）	
			当事者	一般	太極拳（継続）	
			地域ケアブラザ、東本郷小学校コミュニティースクール、みどりハイム	一般	支援団体、当事者団体、育児サークル等への会場提供（継続）	
			地域ケアブラザ	一般	そば打ち教室（新規）—	
			地域ケアブラザ	一般	スキップ（体操教室）（継続）—	
			地域ケアブラザ	一般	男の料理教室（継続）	
			地域ケアブラザ	一般	介護者のつどい（継続）	
			地域ケアブラザ	一般	歩こう会（継続）	
			ボランティア東本郷ささえ愛の会	高齢	家事支援（家事・庭の手入れ）（継続）	
			すみれの会地域ボランティア	高齢	ミニデイサービス（継続）	
			ボランティア東本郷ささえ愛の会	高齢	通院・ボランティア団体の催しへの参加のための送迎サービスの実施（継続）	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【東本郷地区】

基本 目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	東本郷リフレッシュ体操クラブ	高齢	高齢者の健康維持を目的にした体操、フォークダンス、合唱（継続）
			みつわの会	高齢	高齢者サロン（継続）
			東本郷第一団地	高齢	体操教室（継続）
			日鋼自治会（日鋼クラブ）	高齢	パソコン教室、囲碁クラブ、手芸、など（継続）
			三菱自治会（樺の会）	高齢	体操教室（新規） 高齢者サロン（継続）
			地域ケアプラザ、かやの木会	高齢	囲碁サロン（継続）
			東本郷自治会（さつき会）	高齢	手作りの会（継続）
			当事者	高齢	男の料理教室OB会（継続）
			福祉保健活動団体	高齢	さくら（介護予防体操）（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	のんびりサロン（継続）
			東本郷リハビリ教室「なすびの花の会」当事者地域ボランティア	障がい	リハビリやレクリエーション（中途障がい者）（継続）
			民生委員・児童委員、家族のボランティア	障がい	グループひろの活動。就学した障がい児の余暇支援（継続）
			特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業（新規）
			当事者	子ども	キッズ空手（育児サークル）（継続）
			当事者	子ども	マザーグース（育児サークル）（継続）
			当事者	子ども	こっこクラブ（育児サークル）（継続）
			当事者	子ども	コロコロらぶ（育児サークル）（継続）
			当事者	子ども	クローバー（育児サークル）（継続）
			当事者	子ども	メリーちゃん会（育児サークル）（継続）
			当事者	子ども	クローバー（育児サークル）（継続）
			当事者	子ども	ママピクス（育児サークル）（新規）
			ぐるんぱ	子ども	絵本の読み聞かせグループ（継続）
			ボランティア、地区社協	子ども	キッズオアシスひがぼん2（育児支援）の実施（継続）
			地域ケアプラザ	一般 障がい	ポッチャ（継続）
			地域ケアプラザ	子ども	キッズオアシスひがぼん（育児支援）の実施（継続）
			区役所、地域ケアプラザ	子ども	ブレババ・ブレママ講座（継続）
			鴨居保育園	子ども	出張園庭開放（会場：地域ケアプラザ）
			区役所、保健活動推進員、主任児童委員	子ども	赤ちゃん教室（継続）

【東本郷地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
3	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	P T A、連合自治会 地区社協、福祉保健活動 団体、地域ケアプラザ	一般	東本郷小学校「ヒガホンまつり」での情報交換、交流 等（継続）	
			連合自治会、青少年指導 員、体育指導委員、民生 委員・児童委員	一般	さわやかスポーツ（継続）	
			東本郷配食サービス	高齢	ボランティアが見守りをかねて配食、調理は福澤保育 園（継続）	
			ボランティアばら地域ボ ランティア	高齢	昼食会及び配食（継続）	
			日鋼お食事会地域ボラン ティア	高齢	会食会及び配食（継続）	
			三菱さくら会地域ボラン ティア	高齢	会食会（継続）	
			東本郷ボランティア	高齢	昼食会（継続）	
			連合自治会、青少年指導 員、体育指導委員、子供 会	子ども	スポーツレク大会（継続） ティキャンプ（継続） 体育祭（継続） 手作り教室（継続）	
		地域ケアプラザ	子ども	ケアプラザへ行こう（継続）		
				2 公共施設などのフリース ペースで、誰でも自由に参 加できる「場」の活用をす すすめます。	—	—
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相 談機関等を示した啓発ポス ターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	一般	館内掲示（継続）	
			地域ケアプラザ	一般	地域活動（食事会・イベント等）でのPR実施（継 続）	
		2 福祉保健の総合相談窓口と しての地域ケアプラザを地 域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	新聞「たんぼぼ」発行・HP掲載（継続）	
			地区社協	一般	ホームページ作成（継続）	
		3 身近な地域の福祉保健関係 者の活動をPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	ケアプラザ新聞「たんぼぼ」（継続） 介護者向け広報紙「ほっと便り」（継続） 特定高齢者向け「にっこり通信」（継続）	
			—	—	—	
		4 福祉保健相談の受け手をP Rしていきます。	—	—	—	
			—	—	—	
		2 福祉・保健に 関する情報提 供を、より積 極的に行っ ていきます。	1 個々の団体の活動内容を地 域に効果的に広報してい きます。	地区社協	一般	ホームページ作成（継続）
				2 福祉保健活動団体掲載冊子 を作成し、身近な地域で利 用できるようにします。	地区社協	一般
地区社協	一般				地区社協ニュース等の発行（継続）	
4	2 福祉・保健に 関する情報提 供を、より積 極的に行っ ていきます。	4 住民に身近な場所で福祉保 健に関する制度やサービス などの情報提供をしていき ます。	地域ケアプラザ	一般	ケアプラザ新聞「たんぼぼ」（継続） 介護者向け広報紙「ほっと便り」（継続） 特定高齢者向け「にっこり通信」（継続） 館内掲示（継続） HP掲載（継続）	
			連合自治会	一般	介護・若い支度講演会（新規）→22年2月実施予定	
			地域ケアプラザ	一般	年を取りたくない人のための連続セミナー（新規） — 介護者の集い（継続）	
			地区社協	一般	ボランティア団体交流会（継続）	
		5 地域活動団体同士の交流を 活性化し、情報の共有を促 進します。	地区社協	一般	ボランティア団体交流会（継続）	
			地域ケアプラザ	一般	「こころの病を知る」講座開催（精神障がいの理解） （継続）	
3 誰もが情報を 入手しやすい 環境整備をす すすめます。	1 若年層、中年層、高齢層な どそれぞれの年齢層に適し た工夫を凝らした、多様な 方法で情報発信を行ってい きます。	地区社協	一般	ホームページでの情報提供		
		地域ケアプラザ	一般	ホームページ・広報誌での情報提供（継続）		
		地域ケアプラザ	障がい	コミュニケーションボードを受付に設置（継続）		
	2 高齢者や障がい者について は、相手の理解しやすい方 法で情報を提供するよう心 がけます。	—	—	—		

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【東本郷地区】

基本 目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	民生委員・児童委員 地域ケアプラザ	高齢	ケアマネージャーよろず相談会(継続)
		2 地域活動や行事の際に、支援が必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	民生委員・児童委員	高齢	ふれあい・あんしん推進事業(継続)
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあい人間関係づくりをすすめます。	自治会	一般	防災体制作り(継続)
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	自治会	一般	防災ささえあいカード(継続)
			自治会	一般	防災体制作り(継続)
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	地域ケアプラザ	一般	年を取りたくない人のための連続セミナー(新規)
			地域ケアプラザ	一般	地域みんなで火の用心(新規)
			地域ケアプラザ、自治会、地区社協	一般	緊急時対応体験講座(AED・地震・煙体験)(継続)
	4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	地区社協	一般	ホームページで防犯状況の提供(継続)	
		自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動(継続)	
	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいうち、住民同士が配慮をしていきます。	自治会	一般	ゴミだし・ゴミ置き場の管理(継続)
			東本郷まちづくり協議会 自治会	一般	避難ルート標識設置(継続)
			福祉保健活動団体	高齢	ボランティア東本郷ささえ愛の会：送迎サービス(継続)
	3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	東本郷まちづくり協議会 自治会	一般	ミニ巡回バスの運行(継続)
1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。			連合自治会、青少年指導委員、体育指導委員	一般	スポーツレク大会(継続) ディキャンプ(継続) 体育祭(継続)
			保健活動推進員 地域ケアプラザ	一般	ヨガ教室(継続) ウォーキング(継続) 健康チェック(継続) インフルエンザ予防講演会(新規)→1月予定
		福祉保健活動団体	一般	太極拳(継続)	
3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	地域ケアプラザ	高齢	「スキップ」(介護予防体操)の実施(継続)
			自治会	高齢	介護予防体操(むつみ自治会)(継続)
			地域ケアプラザ	高齢	「スキップ」(介護予防体操)の実施(継続)
			地域ケアプラザ	高齢	スリーステップ健康講座(新規) 春はあけぼの健康講座(新規)
			老人会・地域ケアプラザ・区役所・体育協会	高齢	体力測定(新規)→関係機関が各自治会館に出向き、単位老人会毎に実施。
			地域ケアプラザ	一般	年を取りたくない人のための連続セミナー(新規)
	東本郷ばらの自治会		一般	ラジオ体操(東本郷第一公園、通称：ふた公園)(継続)	
当事者	高齢	さくら(介護予防体操)(継続)			
区役所	高齢	老人会への介護予防講座(継続)			

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

鴨居地区

＜地域＞ 鴨居1～7丁目、鴨居町

＜緑区・横浜市との比較＞

- ・ 高齢化率17.52%は、緑区の17.99%より0.47%、横浜市の19.25%より1.73%、それぞれ低くなっている。
- ・ 生産年齢人口(15歳～64歳)の割合69.1%は、緑区の67.14%より1.96%、横浜市の67.29%より1.81%、それぞれ高くなっている。

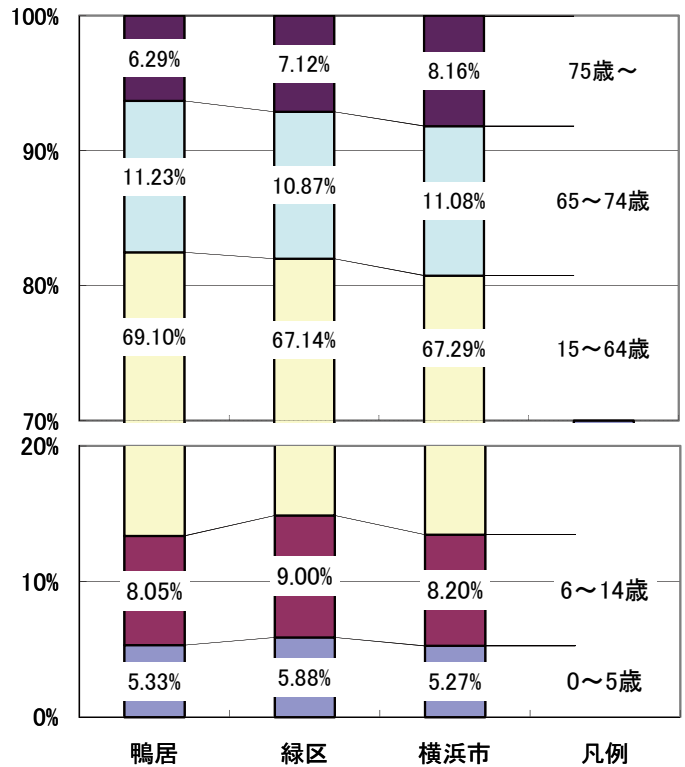
＜年齢区分別人口＞

平成21年(2009年)9月末

	鴨居	緑区	横浜市
75歳～	973人	12,572人	301,506人
65～74歳	1,737人	19,193人	409,330人
15～64歳	10,685人	118,565人	2,485,354人
6～14歳	1,245人	15,897人	302,685人
0～5歳	824人	10,378人	194,509人
合計	15,464人	176,605人	3,693,384人
高齢化率	17.52 %	17.99 %	19.25 %

＜年齢区分別人口の割合＞

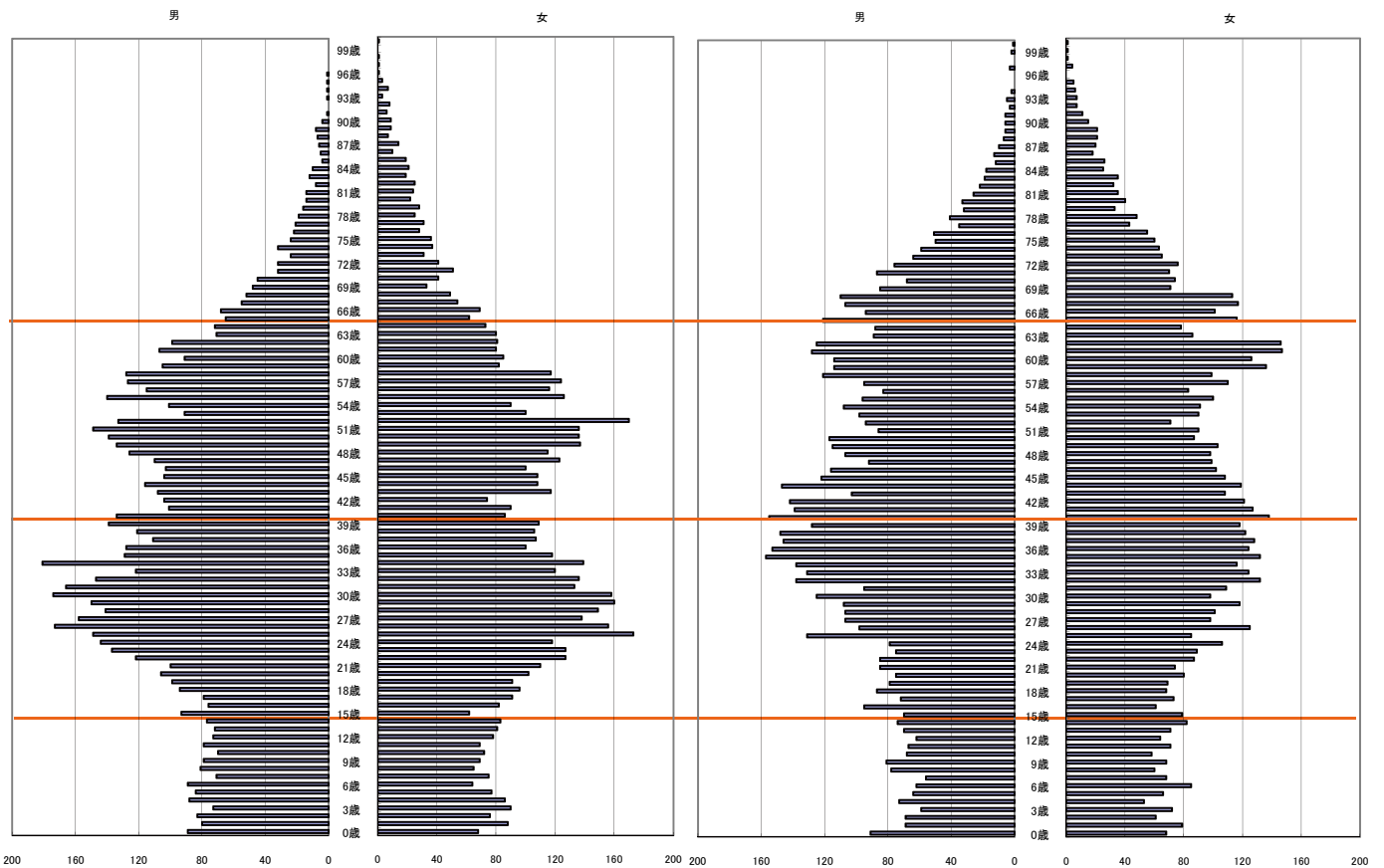
平成21年(2009年)9月末



＜人口ピラミッドの変化＞

平成11年(1999年)9月末

平成21年(2009年)9月末



【鴨居地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	自治会	一般	挨拶運動：ポスターの更新・掲示板の設置・回覧板の手渡し（継続）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	地域ケアプラザ	一般	みどりのわ・ささえ愛プラン「エリアミーティング」の開催（新規） 鴨居地域ケアプラザまつり（継続）
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協	一般	「ボランティア相談室」設置に向けた検討実施（継続）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地区社協、福祉保健活動団体、地域ケアプラザ	一般	鴨居福祉まつり（継続）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	地域ケアプラザ	一般	ボランティア講座実施（継続）
	3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地域ケアプラザ、障がい児・者団体、特別支援学校、区役所、区社協	障がい	子育て支援団体交流会実施（継続）
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業（新規）
4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	福祉保健活動団体	子ども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）	
	2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	地区社協、福祉保健活動団体、地域ケアプラザ	一般	鴨居福祉まつり（継続）	
	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	地区社協、区社協	一般	出張研修（継続）	
3 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地区社協	一般	鴨居地域ケアプラザ開設（福祉ボランティアホール＜GPホール＞利用に向け継続検討）	
	2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—	
	3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	—	—	—	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【鴨居地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	—	—	—
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	ボランティア	障がい	地区リハビリ教室れんげの会（継続）
			鴨居小学校PTA 主任児童委員	一般	おやじの会：バレーボール大会・パソコンの配線（継続）
			鴨居駅周辺まちづくり研究会	一般	鴨居駅周辺のまちづくり等（継続）
			田中医院	一般	ウォーキング（継続）
			主任児童委員	一般	コガモ広場（地域の居場所づくり・人材育成）（継続）
			民生委員・児童委員、地区社協	一般	福祉講演会（継続）
			特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業(新規)
			地域ケアプラザ	こども	キッズオアシスひがぼん（育児支援）の実施（継続） 子育てサロン（継続）
			区役所、地域ケアプラザ	こども	プレパパ・プレママ講座（継続）
			主任児童委員	こども	「手作りをたのしむ会」子どもを対象としたおやつ作り（継続）
			区役所、保健活動推進員、民生委員・児童委員、主任児童委員	こども	赤ちゃん教室（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	介護者のつどい（介護に関する情報交換等）の活動（継続）
			地区社協、福祉保健活動団体	一般	鴨居福祉まつり（継続）
地区社協	高齢	配食サービス活動（継続） 会館食事会、ケアプラザ食事会（高齢者食事会）の活動（継続）			
		2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようになります。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	—	—	—
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	交流会等でのPR実施（継続）
			地域ケアプラザ	一般	新聞「かもネット」発行
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	—	—	—
	4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—	
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—
2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。		—	—	—	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【鴨居地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
4	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	「ゆずり葉」地区社協ニュース等の発行（継続）	
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	「かもネット」発行（継続）	
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	地域ケアプラザ、福祉保健活動団体、特別支援学校、区役所、区社協	一般	子育て支援団体交流会実施（継続）	
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—	
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	自治会	一般	ホームページでの情報提供（継続）	
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	—	—	—	
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—	
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—	
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—	
	5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	—	—	—
			2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	自治会	一般	ささえあいカード（要援護者把握）（継続）
			3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	—	—	—
4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。			自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動（継続）	
2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—		
	2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—		
3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	—	—	—		
	2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操や講座実施、各種事業への支援（継続）		
	3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地域ケアプラザ	高齢	体操教室「スキップ」（介護予防体操）の実施		
区役所		高齢	老人会への介護予防講座（継続）			

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

竹山地区

＜地域＞ 竹山1～4丁目

＜緑区・横浜市との比較＞

- ・ 高齢化率26.94%は、緑区の17.99%より8.95%、横浜市の19.25%より7.69%、それぞれ高くなっている。
- ・ 年少人口(0歳～14歳)の割合9.31%は、緑区の14.88%より5.57%、横浜市の13.47%より4.16%、それぞれ低くなっている。

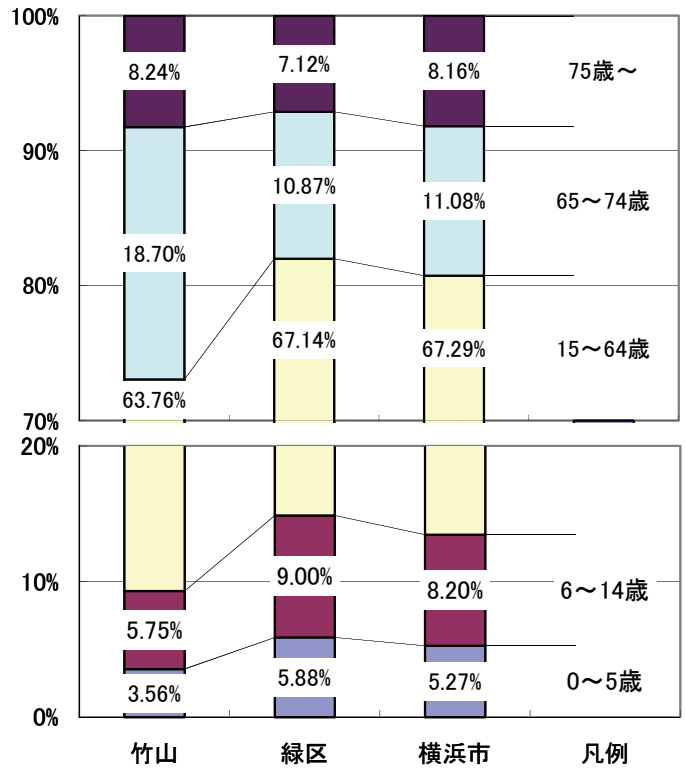
＜年齢区分別人口＞

平成21年(2009年)9月末

	竹山	緑区	横浜市
75歳～	641人	12,572人	301,506人
65～74歳	1,455人	19,193人	409,330人
15～64歳	4,960人	118,565人	2,485,354人
6～14歳	447人	15,897人	302,685人
0～5歳	277人	10,378人	194,509人
合計	7,780人	176,605人	3,693,384人
高齢化率	26.94 %	17.99 %	19.25 %

＜年齢区分別人口の割合＞

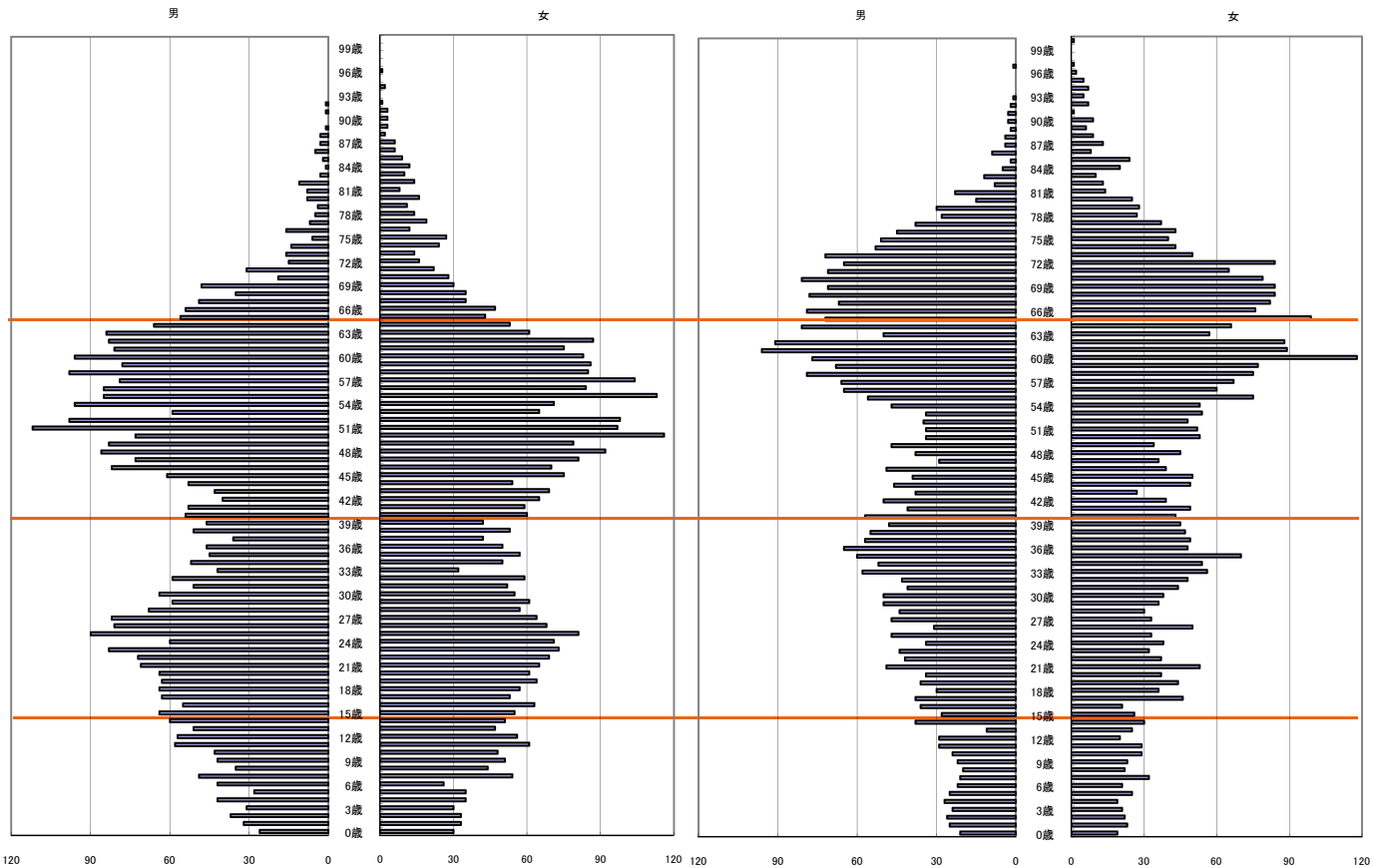
平成21年(2009年)9月末



＜人口ピラミッドの変化＞

平成11年(1999年)9月末

平成21年(2009年)9月末



【竹山地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	地域ケアプラザ、福祉保健活動団体、区役所、区社協	一般	みどりのわ・ささえ愛プラン「エリアミーティング」の開催（新規）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	地域ケアプラザ	一般	鴨居地域ケアプラザまつり（継続）
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協、区社協	一般	竹山ボランティアセンター開設運営（新規）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネート知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	地区社協、区社協	一般	ボランティア研修交流会（新規）
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地域ケアプラザ	一般	ボランティア講座実施（継続）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	福祉保健活動団体、地域ケアプラザ、区役所	一般	HP「みどり ひと・まちナビ」へ情報登録実施（継続）
	3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地域ケアプラザ、障がい児・者団体、特別支援学校、区役所、区社協	障がい	子育て支援団体交流会実施（継続）
			2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい
3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。		福祉保健活動団体	障がい	竹の子会（余暇支援、体操教室等）の活動（継続）	
4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	—	—	—	
	2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	地区社協	一般	「竹山福祉まつり」を竹山小学校で実施（継続）	
	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	—	—	—	
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地区社協	一般	鴨居地域ケアプラザの福祉ボランティアホール<GPホール>利用に向け検討（継続）
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	—	—	—

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【竹山地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	—	—	—
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	当事者	こども	よちよちサークル(育児サークル)(継続)
			地区社協	高齢	竹山寿会(高齢者昼食会)の活動(継続)
			地区社協	高齢	配食サービス(配食、生活支援等)の活動(継続)
			福祉保健活動団体	高齢	いちよの会(高齢者ミニデイ等)の活動(継続)
			地域ケアプラザ	高齢	介護者のつどい(介護に関する情報交換等)の活動(継続)
			地域ケアプラザ	高齢	介護者のつどい(継続)
			区役所、地域ケアプラザ	こども	プレパパ・プレママ講座(継続)
			区役所、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員	こども	赤ちゃん教室(継続)
			福祉保健活動団体	障がい	山びこ会(中途障がい者等のリハビリ等)の活動(継続)
			福祉保健活動団体	障がい	ふれあい教室(中途障がい者等の手作業等、ふれあいの場)の活動(継続)
			NPO	障がい	花ようサロン(介護予防のための高齢者の場)の活動(継続)
			福祉保健活動団体	障がい	竹の子会、うさぎグループ(余暇支援、体操教室等)の活動(継続)
			特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業(新規)
	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協	一般	「竹山福祉まつり」実施(継続)
民生委員・児童委員			高齢	高齢者と児童とのふれあい(老人給食会での小学生との交流)(継続)	
2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。		—	—	—	
4 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	—	—	—	
		地域ケアプラザ	一般	交流会等でのPR実施(継続)	
	2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	「かもネット」発行(継続)	
		—	—	—	
3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	—	—	—		
4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—		

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【竹山地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
4	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—	
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—	
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	地区社協ニュース等の発行（継続）	
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	「かもネット」発行・HP掲載（継続）	
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	地域ケアプラザ、福祉保健活動団体、特別支援学校、区役所、区社協	一般	高齢者ボランティア交流会、障がい児・者、子育て支援団体交流会実施（継続）	
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—	
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—	—
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供するよう心がけます。	—	—	—	—
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—	—
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—	—
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—	—
	5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	—	—	—
2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。			—	—	—	
3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。			—	—	—	
4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。			自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動（継続）	
2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。		1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—	—
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—	—
3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。		1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	—	—	—	—
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操や講座実施、各種事業への支援（継続）	
			食生活等改善推進員（ヘルスマイト）	一般	健康づくり推進に係る事業、講座等の実施、支援（継続）	
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地域ケアプラザ	高齢	体操教室「スキップ」（介護予防体操）の実施	
区役所			高齢	老人会への介護予防講座（継続）		

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

白山地区

〈地域〉 白山1～4丁目

〈緑区・横浜市との比較〉

- ・ 高齢化率15.69%は、緑区の17.99%より2.3%、横浜市の19.25%より3.56%、それぞれ低くなっている。
- ・ 年少人口(0歳～14歳)の割合15.65%は、緑区の14.88%より0.77%、横浜市の13.47%より2.18%、それぞれ高くなっている。

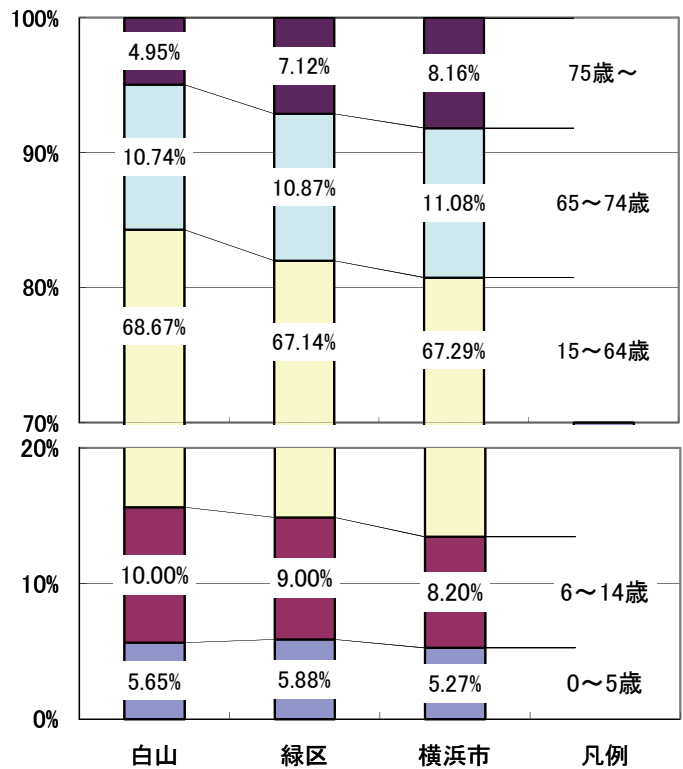
〈年齢区分別人口〉

平成21年(2009年)9月末

	白山	緑区	横浜市
75歳～	512人	12,572人	301,506人
65～74歳	1,111人	19,193人	409,330人
15～64歳	7,102人	118,565人	2,485,354人
6～14歳	1,034人	15,897人	302,685人
0～5歳	584人	10,378人	194,509人
合計	10,343人	176,605人	3,693,384人
高齢化率	15.69%	17.99%	19.25%

〈年齢区分別人口の割合〉

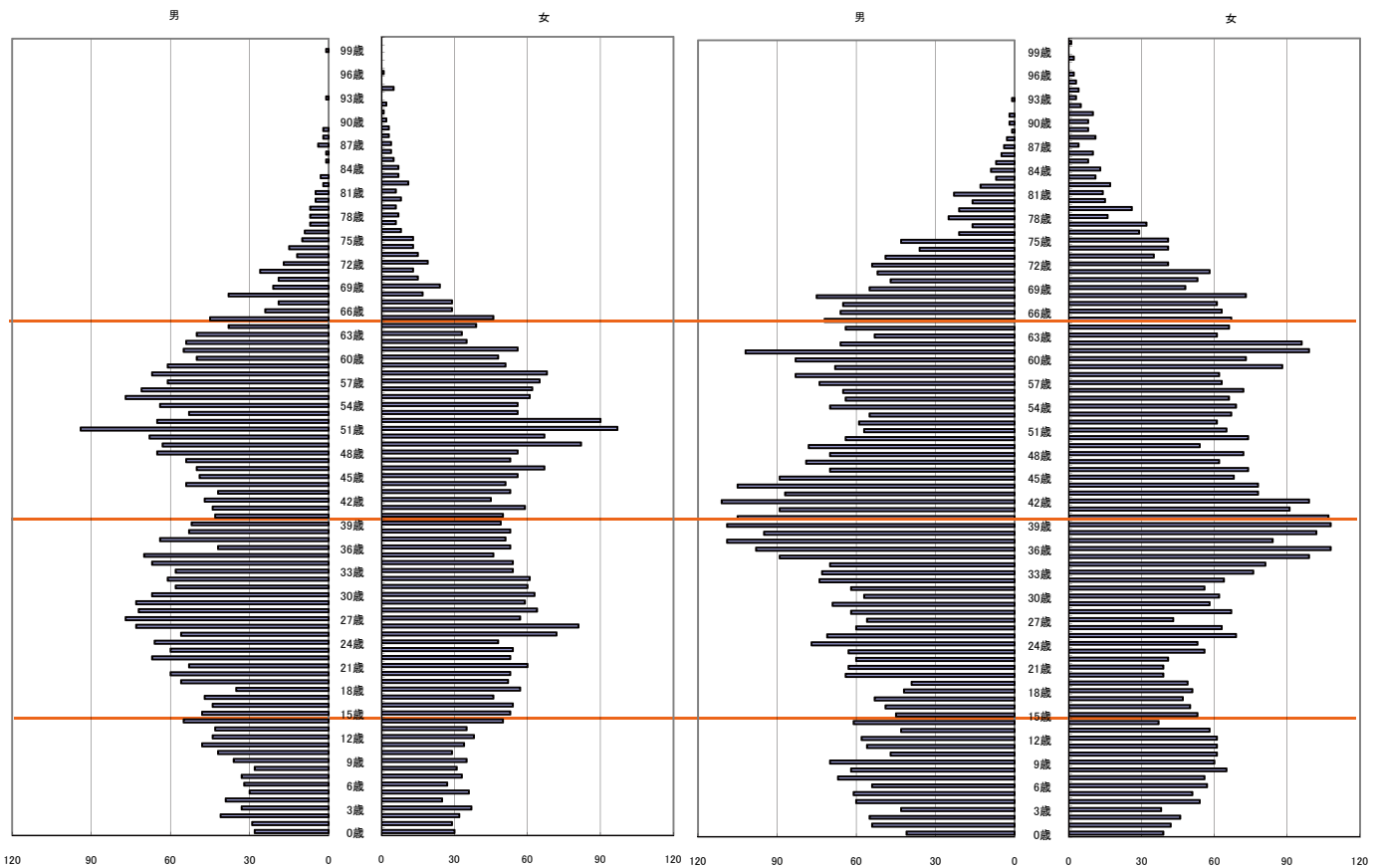
平成21年(2009年)9月末



〈人口ピラミッドの変化〉

平成11年(1999年)9月末

平成21年(2009年)9月末



【白山地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	子供会	一般	あいさつ運動のポスターづくり実施（継続）
			地区社協	一般	地区別計画策定「ステップ事業」
			地域ケアプラザ	一般	鴨居地域ケアプラザまつり（継続）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	—	—	—
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協	一般	地域の支えあい活動に向けたアンケート調査の実施（継続）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地区社協、地域ケアプラザ	一般	「白山福祉まつり」でボランティア活動のPR実施を検討（継続）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	地域ケアプラザ	一般	ボランティア講座実施（継続）
3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	福祉保健活動団体、地域ケアプラザ、区役所	一般	HP「みどり ひと・まちナビ」へ情報登録実施（継続）	
	2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地域ケアプラザ	一般	ボランティア講座実施（継続）	
	3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業(新規)	
4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	—	—	—	
	2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	地区社協	一般	「白山福祉まつり」実施（継続）	
	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	—	—	—	
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	—	—	—
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	—	—	—

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【白山地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	—	—	—
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	当事者	子ども	グリーン' S (育児サークル) (継続)
			当事者	子ども	はらべこあおむし (育児サークル) (継続)
			当事者	子ども	モンブラン (育児サークル) (継続)
			当事者	子ども	わんぱくKIDS (育児サークル) (継続)
			区役所、地域ケアプラザ	子ども	プレパパ・プレママ講座(継続)
			福祉保健活動団体	高齢	わかば会 (高齢者配食等) の活動 (継続)
			福祉保健活動団体	高齢	いちえ会 (高齢者昼食会等) の活動 (継続)
			福祉保健活動団体	高齢	健康教室 (白山住宅自治会館)
			地域ケアプラザ	高齢	介護者のつどい (介護に関する情報交換等) の活動 (継続)
	福祉保健活動団体	障がい	友遊会 (障がい・難病等の当事者グループ) (継続)		
	特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業(新規)		
	区役所、保健活動推進員	子ども	赤ちゃん教室 (継続)		
	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協	一般	福祉まつりの実施
			地区社協	高齢	お茶のみサロン (白山緑自治会館)
地域活動団体		一般	白山親猿会 (継続)		
2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—		
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	一般	交流会等でのPR実施 (継続)
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	新聞「かもネット」発行
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	—	—	—
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	地区社協たより全戸配布 (継続)

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【白山地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
4	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	「かもネット」発行	
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	—	—	—	
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—	
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	地区社協	一般	地区社協たより全戸配布（継続）	
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供するよう心がけます。	—	—	—	
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—	
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—	
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめています。	—	—	—	
	5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	自治会、地区社協	一般	防災訓練等実施（継続）
			2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	自治会	一般	防災ささえあいカード（継続）
				自治会、地区社協	一般	特養メゾンヴェルト地区、障がい施設合同防災訓練（継続）
			3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	—	—	—
2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。		4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動（継続）	
		1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—	
2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操や講座実施、各種事業への支援（継続）	
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	食生活等改善推進員（ヘルスマイト）	一般	健康づくり推進に係る事業、講座等の実施、支援（継続）	
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	区役所	高齢	老人会への介護予防講座	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

新治中部地区

＜地域＞ 中山町、上山1～3丁目、寺山町、森の台、台村町

＜緑区・横浜市との比較＞

- ・ 高齢化率16.31%は、緑区の17.99%より1.68%、横浜市の19.25%より2.94%、それぞれ低くなっている。
- ・ 年少人口(0歳～14歳)の割合15.51%は、緑区の14.88%より0.63%、横浜市の13.47%より2.04%、それぞれ高くなっている。

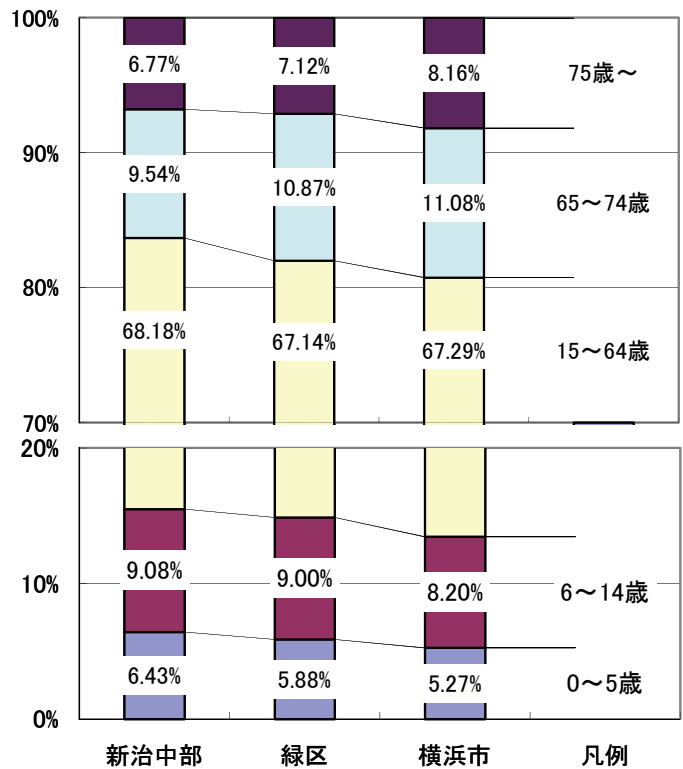
＜年齢区分別人口＞

平成21年(2009年)9月末

	新治中部	緑区	横浜市
75歳～	2,181人	12,572人	301,506人
65～74歳	3,071人	19,193人	409,330人
15～64歳	21,949人	118,565人	2,485,354人
6～14歳	2,922人	15,897人	302,685人
0～5歳	2,071人	10,378人	194,509人
合計	32,194人	176,605人	3,693,384人
高齢化率	16.31 %	17.99 %	19.25 %

＜年齢区分別人口の割合＞

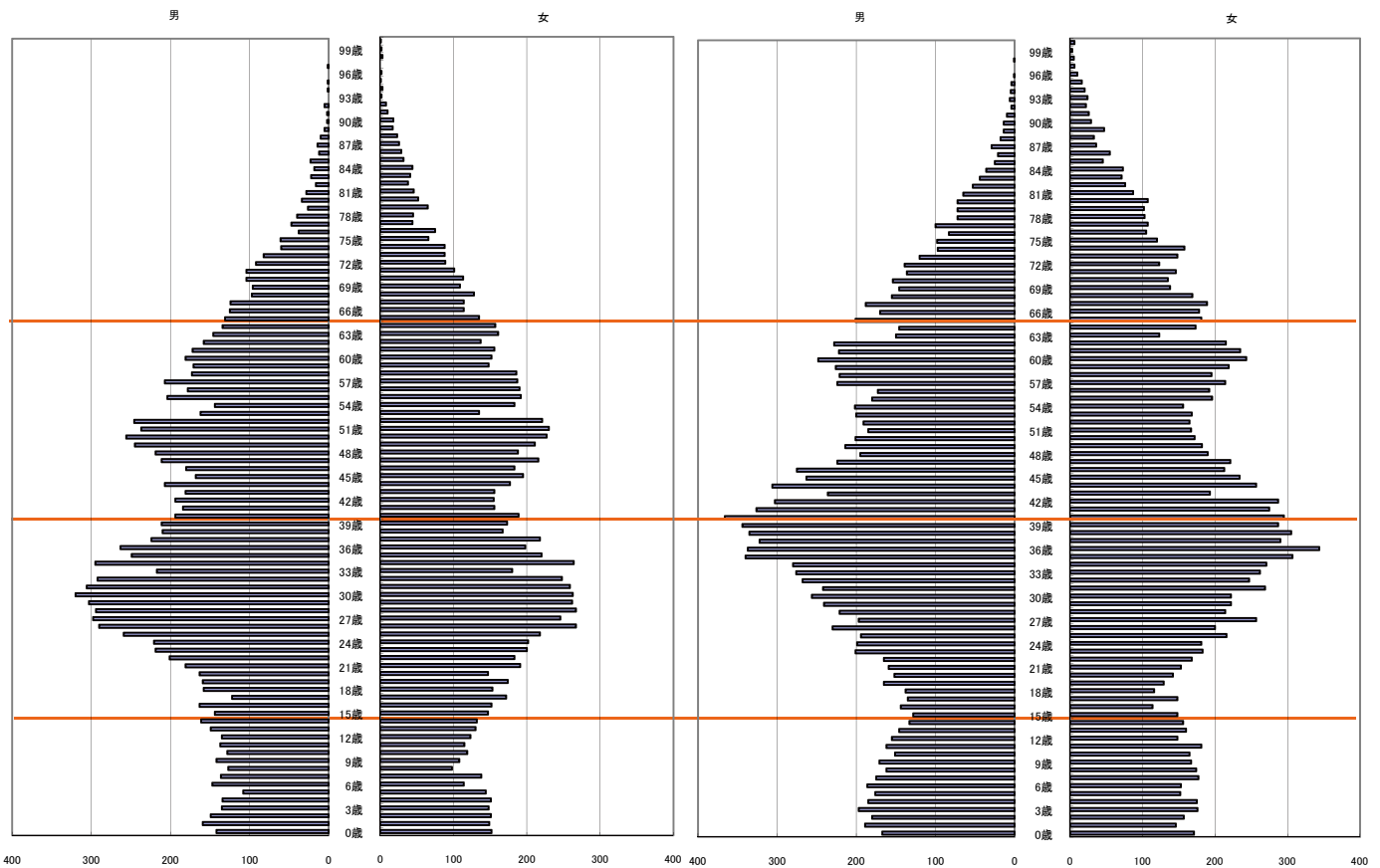
平成21年(2009年)9月末



＜人口ピラミッドの変化＞

平成11年(1999年)9月末

平成21年(2009年)9月末



【新治中部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	地区社協、連合自治会、上山・中山・森の台の各小学校、中山中学校と学地連	一般	生徒と住民と一緒に地域活動を作り上げる「花いっぱい活動」「中山町まつり」等（継続）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	—	—	—
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協、連合自治会、	一般	「役員研修」「全員研修」での施設見学や講師を招いてのグループワーク等を実施（継続）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
2	ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	一般	ボランティア交流会（継続）
			地域ケアプラザ	一般	高齢者疑似体験（ハーモニーふれあいまつり）（継続） 認知症キャラバンメイトの共催（認知症サポーター養成研修）（継続）
			区社協 市民活動支援センター	一般	ボランティア保険講座（新規）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	地域ケアプラザ	一般	中山地域地域ケアプラザホームページの更新（継続）
3	障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地区社協、福祉保健活動団体	障がい	ミドリンピックへ、リハ教室「ぬくもり」参加（継続）
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	—	—	—
		3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	地域ケアプラザ	障がい	余暇支援「ハーモナイズ中山」（継続）、余暇支援「スウィートスプーン（新規）」
4	思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	地域ケアプラザ	高齢	「なかよし会・デイサービス」中山小学校、との次世代交流（継続）
			地域ケアプラザ	一般	デイサービス職業体験（学生）（継続）
			福祉保健活動団体	こども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）
		2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	地区社協、連合自治会、上山・中山・森の台の各小学校、中山中学校と学地連	こども	中山中学校「地域ふれあいフェスティバル」調理実習交流等実施 中山小学校「ふれあいフェスティバル」（継続）
3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	地区社協、区社協	一般	地区社協出張研修（継続）		
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地区社協、地域ケアプラザ	一般	介護者の集い「すずらん会」地区リハ「ぬくもり」等、事業を協働実施（継続）

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【新治中部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。(店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用)	地域ケアプラザ	高齢	高齢者住宅・マンションにおける健康教室(継続)
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	福祉保健活動団体	一般	中山地域支えあい連絡会「地元知っ得!ハンドブック」の作成・配布(新規)
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	地域ケアプラザ	一般	施設スペース(貸し部屋)利用説明会(継続)
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地域ケアプラザ、区役所、区社協	一般	当事者団体、育児サークル等の仲間作り、セルフヘルプグループ等への会場提供(継続)
			地区社協、連合自治会、上山・中山・森の台の各小学校、中山中学校と学地連	一般	生徒と住民が一緒に地域活動を作り上げる「運動会」「各町会まつり」等実施(継続)
			区役所、地域ケアプラザ	こども	プレパパ・プレママ講座(継続)
			区役所	こども	赤ちゃん教室(継続)
			自治会、民生児童委員、地域福祉活動団体	高齢	上山おたのしみ会、中山食事会、ふれあいの日(継続)
3	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協	一般	餅つき体験(継続)
		2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	-	-	-
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	高齢	特定高齢者把握事業PRポスター(継続)
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	広報紙の発行(継続)
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	区社協	一般	各種事業、分科会、地域でのイベント等でPRコーナー設置等実施(継続)
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	-	-	-
2	福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	地域ケアプラザ	一般	すずらん会活動内容チラシ配布(継続)
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	-	-	-
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	地区社協だよりの発行(継続)
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	民児協、市民活動センター、高齢者住宅、自治会館、地区行事などで介護保険制度等説明(継続)
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	地域ケアプラザ	一般	貸し部屋登録団体説明会、ボランティア感謝会(継続)
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	-	-	-

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【新治中部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っています。	地区社協	一般	一人暮らし等高齢者への訪問活動を強化（継続）
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	地域ケアプラザ	一般	広報紙の発行、中山地域ケアプラザホームページの更新（継続）
4	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	自治会、民生児童委員	一般	防災ささえあいカード（継続、一部新規）
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	連合自治会、地区社協、区社協、学校、地域ケアプラザ	一般	地域防災拠点での研修と防災訓練の定期実施（継続）
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	地区社協、自治会	一般	防災体験学習会（新規）
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	自治会、民生児童委員	一般	「防災ささえあいカード」の取り組み（継続）
		4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	各自治会	一般	防犯パトロール活動（継続）
	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えています。	—	—	—
	3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	連合自治会、地区社協、老人会、PTA、学校	子ども	地域ふれあいフェスティバル（継続）
			ヘルスマイト、地域ケアプラザ	子ども	「子育てひろば」での食育活動の推進（継続）
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	連合自治会、地区社協、老人会、PTA	一般	町ぐるみ健康づくり事業（継続）
			保健活動推進員	一般	区民祭りにて、保健活動の推進（継続）
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地区社協、地域ケアプラザ、地域福祉活動団体	高年齢	介護者の集い、介護教室、体操教室（継続）
				高年齢	老人会における健康チェック（継続）、ハーモニーみどりふれあいまつりにおける健康チェック（新規）
高年齢				なかよし会、さわやかリフレッシュ、にっこり健康人の集い、楽語会（新規）	
高年齢				老人会への介護予防講座（継続）	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

三保地区

〈地域〉 三保町

〈緑区・横浜市との比較〉

- ・ 高齢化率14.24%は、緑区の17.99%より3.75%、横浜市の19.25%より5.01%、それぞれ低くなっている。
- ・ 年少人口(0歳～14歳)の割合17.95%は、緑区の14.88%より3.07%、横浜市の13.47%より4.48%、それぞれ高くなっている。

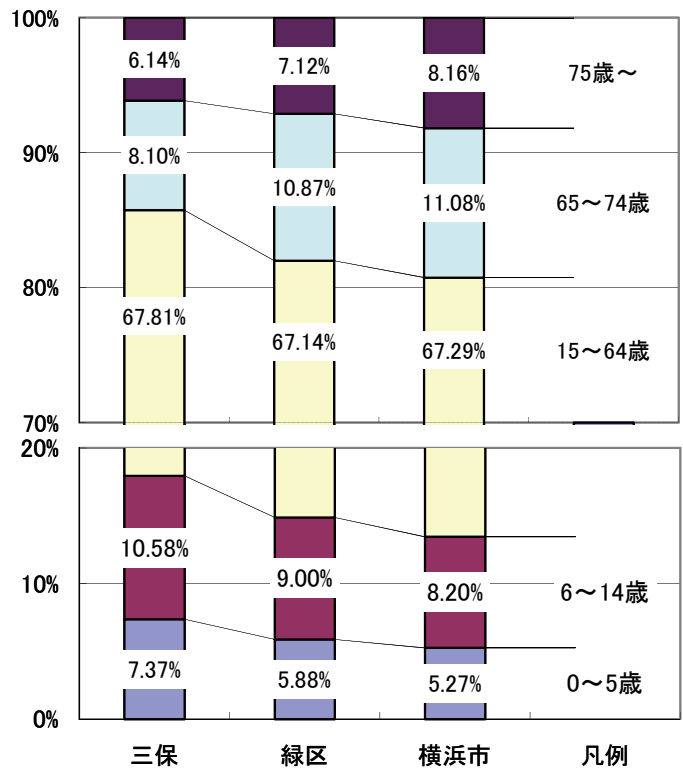
〈年齢区分別人口〉

平成21年(2009年)9月末

	三保	緑区	横浜市
75歳～	876人	12,572人	301,506人
65～74歳	1,156人	19,193人	409,330人
15～64歳	9,677人	118,565人	2,485,354人
6～14歳	1,510人	15,897人	302,685人
0～5歳	1,052人	10,378人	194,509人
合計	14,271人	176,605人	3,693,384人
高齢化率	14.24 %	17.99 %	19.25 %

〈年齢区分別人口の割合〉

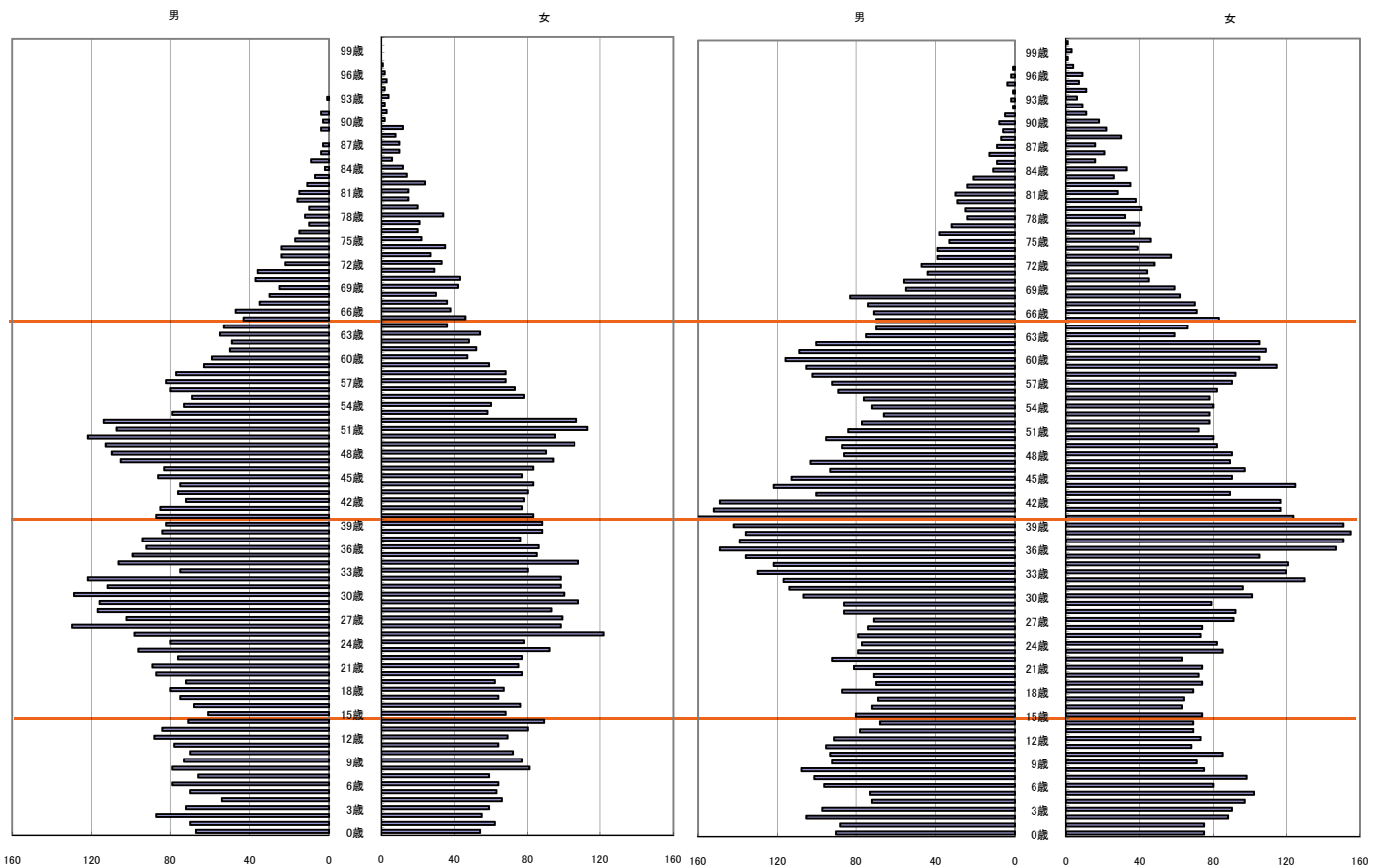
平成21年(2009年)9月末



〈人口ピラミッドの変化〉

平成11年(1999年)9月末

平成21年(2009年)9月末



【三保地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	地区社協、青年指導員、子ども会、連合自治会	子ども	伝承遊びなどで住民との世代間交流（継続）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	地区社協、連合自治会	一般	地区社協や学校関係事業の周知、参加募集協力等実施（継続）
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協、連合自治会、三保小学校、学家地連とPTA、子ども会、老人会	一般	「ちょこっとサポーター」ボランティア募集など、三保小学校学習カリキュラム協力者を地区社協が窓口として、受付と企画調整を実施（継続）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
2	ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地区社協、連合自治会、十日市場中学校、学家地連とPTA 地域ケアプラザ	子ども 一般	中山地域ケアプラザでの夏休み・中学生ボランティア体験学習の実施（継続） 高齢者疑似体験（ハーモニーふれあいまつり）（継続） 認知症キャラバンメイトの共催（認知症サポーター養成研修）（継続）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	地域ケアプラザ	一般	中山地域地域ケアプラザホームページの更新（継続）
3	障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	—	—	—
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	—	—	—
		3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	地区社協	障がい	新治特別支援学校支援など「隣友会」活動への支援協力（継続）
			地域ケアプラザ	障がい	ボランティアみほの活動支援（継続）
地域ケアプラザ	障がい	余暇支援「ハーモナイズ中山」（継続） 余暇支援「スウィーツスプーン」（新規）			
4	思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	地区社協、連合自治会、三保小学校、学家地連とPTA	子ども	「ちょこっとサポーター」ボランティア募集（継続）
			地域ケアプラザ	一般	デイサービス職業体験（学生）（継続）
			福祉保健活動団体	子ども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）
		2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	地区社協、連合自治会、三保小学校、学家地連とPTA、老人クラブ	高齢	児童の招待による地域高齢者との「ふれあい給食会」（継続）
		3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	—	—	—
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地区社協、地域ケアプラザ、民生児童委員	一般	介護者の集い（コスモス会）実施（継続） 地区リハ（ボランティアみほ ふれあい教室）実施（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	高齢者住宅におけるミニデイサービス（イキキサニー）（継続）
		地区社協、地域ケアプラザ、民生児童委員	高齢	三保クリスマス会（新規）	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【三保地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	福祉保健活動団体	一般	中山地域支えあい連絡会「地元知っ得！ハンドブック」の作成・配布（新規）
	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	地域ケアプラザ	一般	施設スペース（貸し部屋）利用説明会（継続）
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地域ケアプラザ	一般	当事者団体、育児サークル等の仲間づくり、セルフヘルプグループ等への会場提供（継続）
			区役所、地域ケアプラザ	子ども	プレパパ・プレママ講座（継続）
			区役所、保健活動推進員	子ども	赤ちゃん教室（継続）
	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協	一般	ウォークラリー、スポーツイベント（継続）
2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。		—	—	—	
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	—	—	—
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	広報紙の発行、中山地域ケアプラザホームページの更新（継続）
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	区社協	一般	各種事業、分科会 地域でのイベント等でPRコーナー設置等実施（継続）
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	地域ケアプラザ	一般	コスモス会活動内容チラシ配布（新規）
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	広報紙「三保社協」の発行（継続）
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	—	—	—
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	—	—	—
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	地区社協、地域福祉活動団体	障がい	新治特別支援学校支援など「隣友会」学習発表会、施設見学活動への支援協力（継続）
3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	地域ケアプラザ	一般	広報紙の発行、中山地域ケアプラザホームページの更新（継続）	
	2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	—	—	—	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【三保地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	—	—	—
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	—	—	—
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	—	—	—
		4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動（継続）
	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	地域福祉活動団体	高齢	ボランティアみほ送迎サービス（継続）
	3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	連合こども会、青少年指導員、体育指導委員	こども	ウォークラリー、キックボール等スポーツイベント（継続）
			地域ケアプラザ、保健活動推進員	こども	子育て広場での食育活動（継続）
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	保健活動推進員	一般	区民祭りにおける保健活動推進（継続）
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地区社協・地域福祉活動団体	高齢	「ボランティアみほ」等による、在宅福祉分野での見守り活動の強化（継続）
			地区社協、地域ケアプラザ、地域福祉活動団体	高齢	介護者の集い、介護教室、体操教室（継続）
			地区社協、地域ケアプラザ、地域福祉活動団体	高齢	三保ミニデイ（継続）、高齢者住宅におけるミニデイサービス（イキイキサニー）（継続）
地域ケアプラザ			高齢	なかよし会、さわやかリフレッシュ（新規）	
区役所		高齢	老人会への介護予防講座（継続）		

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

山下地区

＜地域＞ 西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町

＜緑区・横浜市との比較＞

- ・ 高齢化率21.79%は、緑区の17.99%より3.8%、横浜市の19.25%より2.54%、それぞれ高くなっている。
- ・ 生産年齢人口(15歳～64歳)の割合63.7%は、緑区の67.14%より3.44%、横浜市の67.29%より3.59%、それぞれ低くなっている。

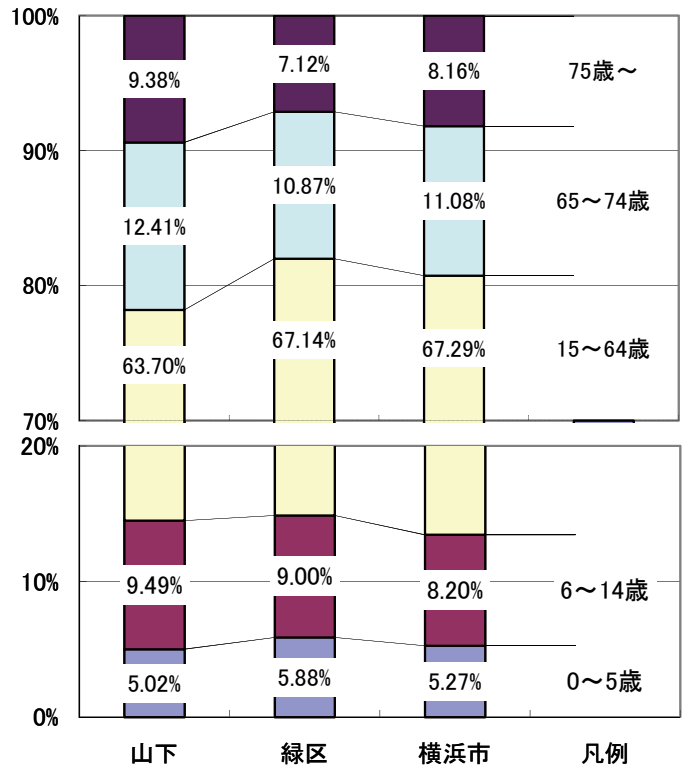
＜年齢区分別人口＞

平成21年(2009年)9月末

	山下	緑区	横浜市
75歳～	1,522人	12,572人	301,506人
65～74歳	2,015人	19,193人	409,330人
15～64歳	10,340人	118,565人	2,485,354人
6～14歳	1,541人	15,897人	302,685人
0～5歳	815人	10,378人	194,509人
合計	16,233人	176,605人	3,693,384人
高齢化率	21.79 %	17.99 %	19.25 %

＜年齢区分別人口の割合＞

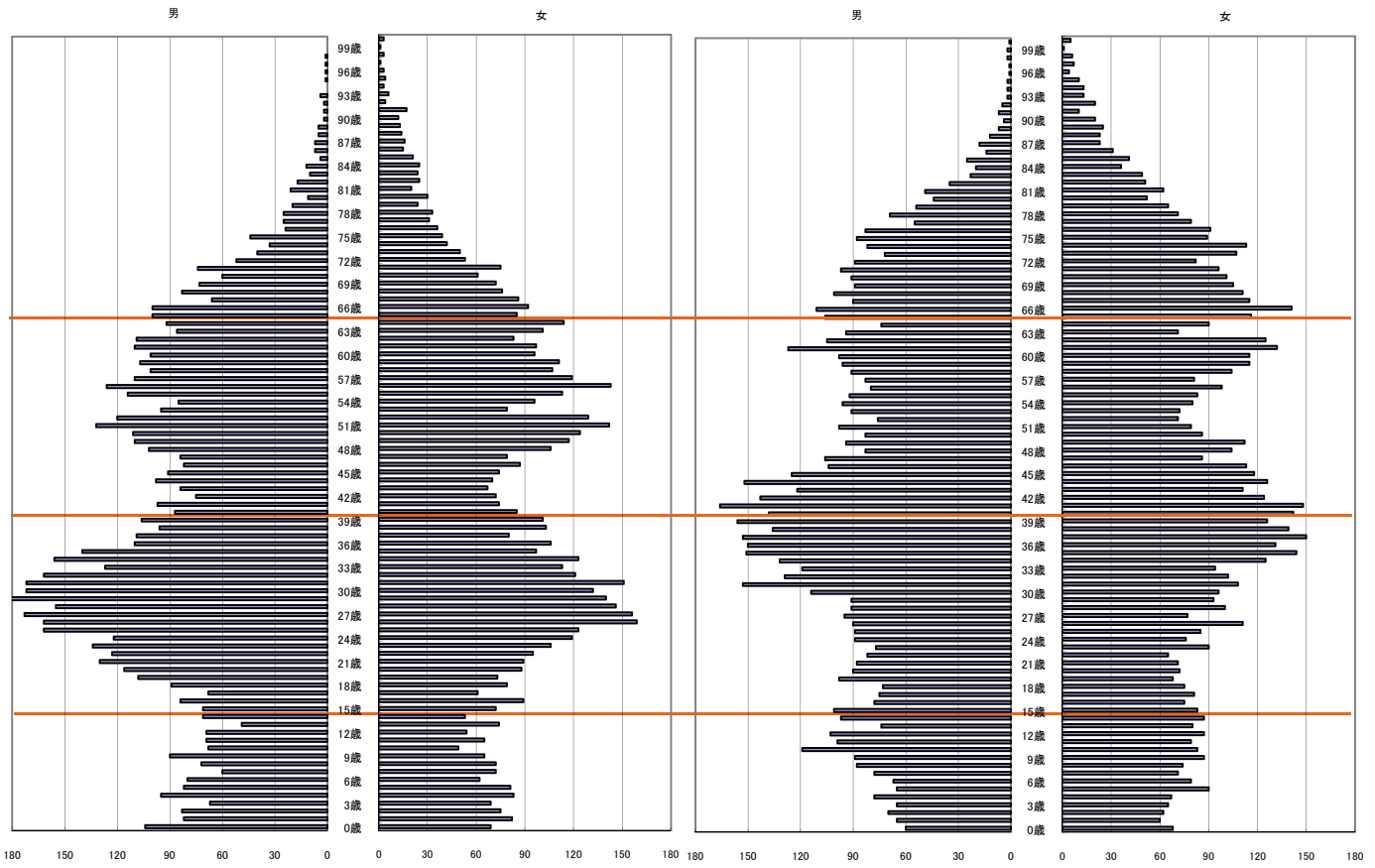
平成21年(2009年)9月末



＜人口ピラミッドの変化＞

平成11年(1999年)9月末

平成21年(2009年)9月末



【山下地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	愛のフェスティバル実行委員会（福祉施設 愛）	一般	愛のフェスティバル（継続）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	みどりの家	一般	みどりの家「夏祭り」、「餅つき」（継続）
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協	一般	ステップ事業や「山下地域支え合いの会」による、たすけあい活動の推進（新規）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	区社協	一般	ステップ事業による、たすけあい活動の推進（新規）
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地域包括支援センター 区社協	一般	「山下地域支え合いの会」の活動支援（継続）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	区社協 地区社協	一般	区社協ホームページに地区社協情報を掲載（継続）
3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	—	—	—	
	2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地区社協	一般	「山下地域支え合いの会」ボランティアの集いで登録カードの呼びかけ（継続）	
	3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	—	—	—	
4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	山下小学校 地区社協	こども	地区社協の高齢者昼食会事業に山下小学校児童が訪問・交流（継続）	
		福祉保健活動団体	こども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）	
	2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	山下みどり台小学校	一般	食事会（学校応援隊メンバー、地域の読み聞かせ講師等を招き、食事会をしながら感謝の気持ちを伝える）（継続）	
	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	地域福祉保健活動団体	高齢	「山下地域ささえ合いの会」（高齢者のためのボランティア組織）（継続）	
3 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	—	—	—	
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	
	3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	—	—	—	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【山下地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	—	—	—
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地区社協	高齢	山下地区リハビリ教室Aコース 健康維持のための体操、レクリエーション（継続）
			地区社協	障がい	山下地区リハビリ教室Bコース リハビリ、レクリエーション（継続）
		当事者、ボランティア、民児協、区役所	こども	山下おやこの広場 おやこが集える場（手遊び、交流）（継続）	
		地域ボランティア、保健活動推進員	高齢	書道教室、レクリエーション（継続）	
		区役所、保健活動推進員	こども	赤ちゃん教室（継続）	
		連合自治会	一般	総合型スポーツクラブ事業実施（継続）	
	区役所、地域ケアプラザ	こども	ブレババ・ブレママ講座（継続）		
	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協	高齢	昼食会、山下みどり台小・山下小児童との交流会食（継続）
		2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	北八朔公園愛護会	一般	公園まつり（1／年）、季節に応じたイベント（第2、4土曜日）実施（継続）
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	—	—	—
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	自治会での福祉講座の実施、地域ケアプラザのPR（継続）
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	地区社協	高齢	「年末たすけあい」訪問を活用した支えあいの会活動PRチラシの配布（新規）
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	地区社協	高齢	「年末たすけあい」訪問を活用した支えあいの会活動PRチラシの配布（新規）
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	「地区社協だより」を発行（継続）
	4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域包括支援センター	一般	自治会への福祉講座の実施 地域ケアプラザのちらしの配布（継続）	
	5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	地域ケアプラザ	一般	支えあい連絡会の実施（継続）	
	6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【山下地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っています。	—	—	—
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	—	—	—
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	地区社協	一般	「防災」をキーワードとしたステップ事業の推進（新規）
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	山下エリアグループホーム連絡会	高齢	山下エリア内のグループホームの情報共有（継続）
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめています。	—	—	—
	5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	地域防災拠点運営委員会	一般
地区社協				一般	地区計画策定「ステップ事業」において、防災マップを配布（継続）
2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。			自治会	一般	「防災ささえあいカード」の取り組み（継続）
			地区社協	一般	「あんしんカード」を活用した救援対策への取り組み（新規）
3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。			—	—	—
4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。		山下地域支え合いの会 P T A	一般	学校応援隊など防犯パトロール活動（継続）	
2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。		1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしています。	—	—	—
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えています。	—	—	—
3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。		1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	—	—	—
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広がっていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操、ウォーキング、健康講座等（継続）
	福祉保健活動団体 地域包括支援センター 区役所 保健活動推進員		一般 子ども	ヘルスアップ講座（継続）	
3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地域包括支援センター 区役所	高齢	自治会への介護講座、認知症予防教室（継続）		

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

新治西部地区 十日市場団地地区

＜地域＞ 新治町、十日市場町、長津田みなみ台7丁目の一部

＜緑区・横浜市との比較＞

- ・ 高齢化率20.8%は、緑区の17.99%より2.81%、横浜市の19.25%より1.55%、それぞれ高くなっている。
- ・ 生産年齢人口(15歳～64歳)の割合63.93%は、緑区の67.14%より3.21%、横浜市の67.29%より3.36%、それぞれ低くなっている。

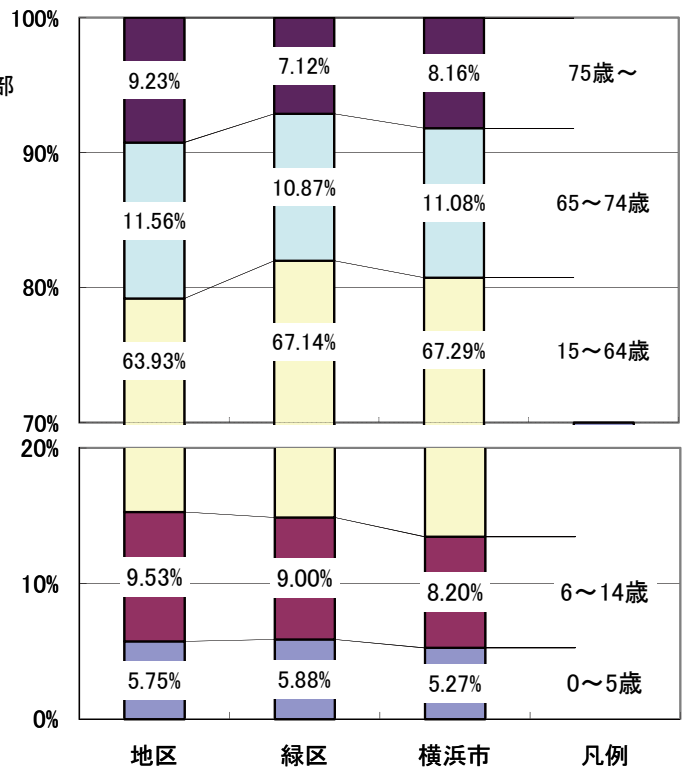
＜年齢区分別人口＞

平成21年(2009年)9月末

	地区	緑区	横浜市
75歳～	1,849人	12,572人	301,506人
65～74歳	2,315人	19,193人	409,330人
15～64歳	12,801人	118,565人	2,485,354人
6～14歳	1,908人	15,897人	302,685人
0～5歳	1,151人	10,378人	194,509人
合計	20,024人	176,605人	3,693,384人
高齢化率	20.80 %	17.99 %	19.25 %

＜年齢区分別人口の割合＞

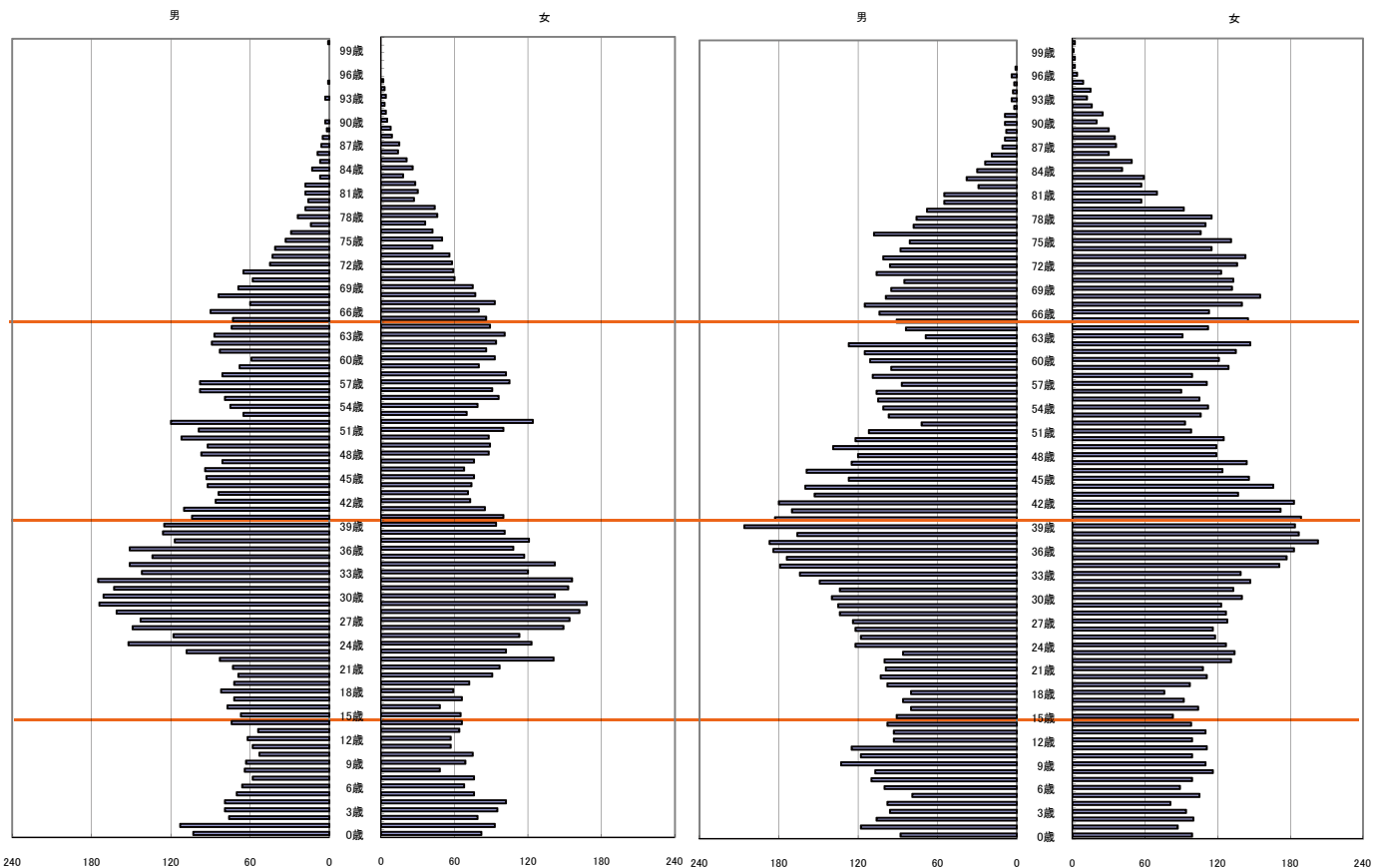
平成21年(2009年)9月末



＜人口ピラミッドの変化＞

平成11年(1999年)9月末

平成21年(2009年)9月末



注)平成11年度は新治町、十日市場町のデータ、平成21年度は、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。

【新治西部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	十日市場中学校地域交流実行委員会	一般	生徒と地域の人たちが知り合い、一緒に地域活動に参加し、顔の見える関係作り（継続）
			自治会 氏子会	一般	日向山神社こども神輿（継続） お祭り（継続）
			自治会	一般	盆踊り大会（継続）
			自治会	一般	恩田川清掃（継続）
			自治会 公園愛護会	一般	町内一斉清掃（継続）
			自治会	一般	餅つき大会（継続）
			自治会	一般	芋煮会（継続）
			自治会 老人会	一般	クリーンアップ運動（継続）
			自治会	一般	日帰り親睦旅行（継続）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	自治会	一般	自治会だより（継続）
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくりまします。	地域ケアプラザ	一般	ボランティア相談・調整・連絡（継続）
			区社協	一般	ボランティアコーディネーター研修（継続）
	2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—	
2	ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地域ケアプラザ	一般	はまちゃん体操フォローアップ講座（継続）
			2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	—	—
3	障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	一般	手話ボランティア入門講座（新規）（手話サークルやよい）
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	一般	手話ボランティア入門講座（新規）（手話サークルやよい）
		3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	—	—	—
4	思いやりのある人を育てる地域をつくりまします。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	十日市場中学校地域交流実行委員会	一般	生徒と地域の人たちが知り合い、一緒に地域活動に参加し、顔の見える関係作り（継続）
		2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	小学校 PTA 自治会	子ども	新治小学校ワクワクデー（継続）
		3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	福祉保健活動団体	一般	梅田川清掃（継続） 里山保全活動（継続）
			小学校 福祉保健活動団体 自治会	子ども	稲刈り・田植え実習（継続）
連合自治会 保護司	一般	社会を明るくするミニ集会（継続）			

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【新治西部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地域ケアプラザ	一般	自治会での認知症講演（継続）
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	福祉保健活動団体 区役所 区社協	こども	子育てお助けBOOK(継続)
	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。 2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	1 地域ケアプラザ	一般	たんぼぼ（介護者の集い）（継続）
			地域ケアプラザ	一般	介護者の集い たんぼぼ（介護者の交流会）（継続）
			福祉保健活動団体	高齢	新治西部民生委員昼食会（一人暮らし対象の昼食会）（継続）
			福祉保健活動団体	高齢	えいゆう会（映画上映会）（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	サロン（外出機会の少ない高齢者のサロン）（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	ららら・歌の会（外出機会の少ない高齢者の集まり）（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	こぎげん・くらぶ（高齢者のミニサービス）（継続）
			地域ケアプラザ	高齢 障がい	おたのしみ会（高齢者、障がいの手作り作品講習）（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	いきいき笑顔の広場（昭和大ボランティア部と協働）（継続）
福祉保健活動団体			こども	すくすくキッズ（継続）十日市場地区センターで実施	
地域ケアプラザ			こども	よちよち園A, B, S（未就学、乳児親子支援）（継続）	
福祉保健活動団体、地域ケアプラザ、区役所			障がい	緑十友会（中途障がい者の集い）（継続）	
区役所 保健活動推進委員 主任児童委員	こども	赤ちゃん教室(継続)			
区役所 地域ケアプラザ	こども	プレパパ・プレママ教室(継続)			
3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協 事業者	障がい	みどり福祉ホーム合同昼食会（高齢者と福祉ホームの合同昼食会）（継続）	
		特別支援学校	障がい	新治特別支援学校コンサート（継続）	
		地域ケアプラザ	一般	脳トレ多世代交流「あおむしクラブ」(継続)	
		連合自治会 子供会 青少年指導委員 体育指導委員	こども	紙飛行機大会(継続)	
		2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【新治西部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	一般	薬局・病院・商店等にチラシ・ポスターの配布(継続)
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	制度や事業についてチラシやケアプラ新聞で広報(継続)
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	ケアプラ新聞で活動紹介(継続)
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	—	—	—
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	—	—	—
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	福祉保健活動団体・地域作業所・地域ケアプラザ・緑図書館・緑ほのぼの荘	一般	バザーフェスタ(継続)
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	—	—	—
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	民生委員・児童委員 地区社協	高齢	昼食会(継続)
			自治会 民生委員・児童委員 地区社協	高齢	敬老会(継続)
			民生委員・児童委員 地区社協	高齢	カラオケ大会(継続)
	3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【新治西部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	連合自治会	一般	防災訓練・防災・防火講演会(継続)
			民生委員・児童委員	高齢	ふれあい・あんしん推進事業(継続)
			自治会	一般	AED取り扱い訓練(継続)
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	自治会	一般	災害時要援護者の把握(継続)(後谷自治会)
	3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	—	—	—	
	4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	自治会、PTA、消防団	一般	防犯パトロール活動(継続)	
5	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	自治会	一般	外灯の整備(継続)
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—
3	誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	連合自治会 子供会 青少年指導員 体育指導委員	一般	ウォークラリー(継続)
			連合自治会 子供会 青少年指導員 体育指導委員	一般	健民祭(継続)
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操、講座実施、各種事業支援(継続)
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	福祉保健活動団体	高齢	転倒予防教室ひちびちOB会(継続)
			福祉保健活動団体	高齢	木曜会(継続)
		地域ケアプラザ 緑ほのぼの荘	高齢	健康運動教室(介護予防体操)(継続)	
		地域ケアプラザ	一般	認知症サポーター養成講座(新規)	
		ボランティア 地域ケアプラザ	一般	はまちゃん体操の普及活動(継続)	
区役所	高齢	老人会への介護予防講座(継続)			

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【十日市場団地地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	十日市場中学校地域交流実行委員会	一般	生徒と地域の人たちが知り合い、一緒に地域活動に参加し、顔の見える関係作り（継続）	
			連合自治会	一般	夏祭り（盆踊り）（継続）	
			連合自治会	一般	バスハイク（継続）	
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	地区社協	一般	連合自治会の機関紙に近況や計画を掲載し、広報活動実施（継続）	
			連合自治会	一般	自治会通信（継続）	
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくりまします。	区社協	一般	ボランティアコーディネーター研修（継続）	
			—	—	—	
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地域ケアプラザ	一般	ボランティア相談・調整・連絡（継続）	
			区社協	一般	ボランティアコーディネーター研修（継続）	
			地域ケアプラザ	一般	はまちゃん体操フォローアップ講座（継続）	
			地域ケアプラザ	一般	はまちゃん体操リーダー養成講座（新規）	
	2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	—	—	—	
			—	—	—	
	3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	一般	手話ボランティア入門講座（新規）（手話サークルやよい）	
			2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	一般	手話ボランティア入門講座（新規）（手話サークルやよい）
			3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	—	—	—
	4 思いやりのある人を育てる地域をつくりまします。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	十日市場中学校地域交流実行委員会	一般	生徒と地域の人たちが知り合い、一緒に地域活動に参加し、顔の見える関係作り（継続）	
2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。			—	—		
3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。			—	—		
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地域ケアプラザ	一般	自治会での認知症講演（継続）	
			2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	福祉保健活動団体 区役所 区社協	子ども	子育てお助けBOOK（継続）	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【十日市場団地地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	地域ケアプラザ	一般	たんぼぼ（介護者の集い）（継続）
			2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	福祉保健活動団体	高齢
		福祉保健活動団体		高齢	ヒルタウン親睦会：十日市場団地在住のボランティアによる昼食会（継続）
		福祉保健活動団体		高齢	えいゆう会：高齢者の映画同好会。閉じこもりを防ぐ。（継続）
		福祉保健活動団体		高齢	びちびちOB会：転倒予防教室修了者による自主的な体操教室（継続）
		福祉保健活動団体		高齢	遊人会：健康づくり、仲間づくりを目的とした集い（継続）
		福祉保健活動団体		高齢	緑はればれ2000：シニア世代の仲間の集い。ボランティア活動を通じた交流を実施（継続）
		福祉保健活動団体		高齢	健康運動教室：介護予防体操（継続）
		地域ケアプラザ		高齢	サロン：外出の機会の少ない高齢者のためのサロン。折り紙、編み物、囲碁など趣味活動が中心。（継続）
		地域ケアプラザ		高齢	ららら♪うたの会：外出の機会の少ない高齢者のためのサロン。童謡や唱歌など懐かしい歌をうたつ会（継続）
		地域ケアプラザ		高齢	たんぼぼ：高齢者の家族介護者の集い（継続）
		地域ケアプラザ		高齢	ごきげん・くらぶ：ミニデイサービス（継続）
		地域ケアプラザ		高齢	いきいき笑顔の広場：ミニデイサービス（継続）
		地域ケアプラザ		高齢 障がい	おたのしみ会：障がい者・高齢者を対象にした手作り作品講習会（継続）
		地域ケアプラザ		こども	よちよち園A：親子の交流を目的してプログラムとミニサロン（継続）
		地域ケアプラザ		こども	よちよち園B：親子のためのフリースペース（継続）
		地域ケアプラザ		こども	よちよち園S：乳児と親のサロン（継続）
		区役所		こども	赤ちゃん教室（継続）
		区役所 地域ケアプラザ		こども	ブレパパ・ブレママ教室（継続）
		福祉保健活動団体、地域 ケアプラザ	障がい 高齢	緑十友会（地域リハビリ教室）（継続）	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【十日市場団地地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協 地域ケアプラザ	子ども 高齢	高齢者と子どもの交流会（継続） 魁トシ多世代交流「あおむしクラブ」（継続）
		2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	地域作業所 地域ケアプラザ 緑図書館	一般	陽だまり喫茶（継続）
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	一般	薬局・病院・商店等にチラシ・ポスターの配布（継続）
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	制度や事業についてチラシやケアプラ新聞で広報（継続）
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	地区社協	一般	連合自治会の機関紙に近況や計画を掲載し、広報活動実施（継続）
			地域ケアプラザ	一般	ケアプラ新聞で活動紹介（継続）
	4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—	
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	—	—	—
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	—	—	—
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	福祉保健活動団体・地域作業所・地域ケアプラザ・緑図書館・緑ほのぼの荘	一般	バザーフェスタ（継続）
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供するよう心がけます。	—	—	—
4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	地域防災拠点運営委員会 連合自治会、区役所 民生委員・児童委員	一般	ささえあいカード（災害時要援護者把握）（継続）	
		民生委員・児童委員	高齢	ふれあい・あんしん推進事業（継続）	
	2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—	
	3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【十日市場団地地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	民生委員・児童委員 地域ケアプラザ	高齢	地区民生・児童委員協議会 (継続)	
			自治会	一般	AED取り扱い訓練(継続)	
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	地域防災拠点運営委員会 連合自治会、区役所 民生委員・児童委員	一般	防災ささえあいカード 防災訓練において、ささえあい カード登録要援護者の避難訓練実 施(継続)	
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	—	—	—	
		4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動(継続)	
	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—	
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—	
	3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	—	—	—	
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	連合自治会、区役所 保健活動推進委員	一般	町ぐるみ健康づくり事業への取組 (継続)	
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。		ボランティア 地域ケアプラザ	一般	はまちゃん体操の普及活動 (継続)
				地域ケアプラザ 区役所	高齢	老人会での出前出張介護予防 講座(継続)
				地域ケアプラザ	一般	認知症サポーター養成講座(新 規)
	福祉保健活動団体	高齢	転倒予防教室ひちびちOB会 (継続)			

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

霧が丘地区

＜地域＞ 霧が丘1～6丁目

＜緑区・横浜市との比較＞

- ・ 高齢化率17.17%は、緑区の17.99%より0.82%、横浜市の19.25%より2.08%、それぞれ低くなっている。
- ・ 生産年齢人口(15歳～64歳)の割合69.61%は、緑区の67.14%より2.47%、横浜市の67.29%より2.32%、それぞれ高くなっている。

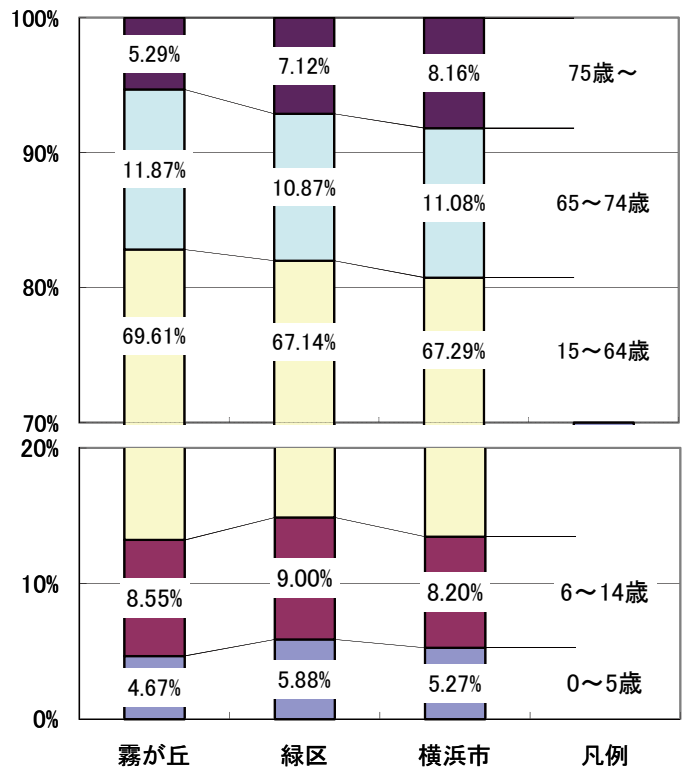
＜年齢区分別人口＞

平成21年(2009年)9月末

	霧が丘	緑区	横浜市
75歳～	646人	12,572人	301,506人
65～74歳	1,449人	19,193人	409,330人
15～64歳	8,495人	118,565人	2,485,354人
6～14歳	1,044人	15,897人	302,685人
0～5歳	570人	10,378人	194,509人
合計	12,204人	176,605人	3,693,384人
高齢化率	17.17%	17.99%	19.25%

＜年齢区分別人口の割合＞

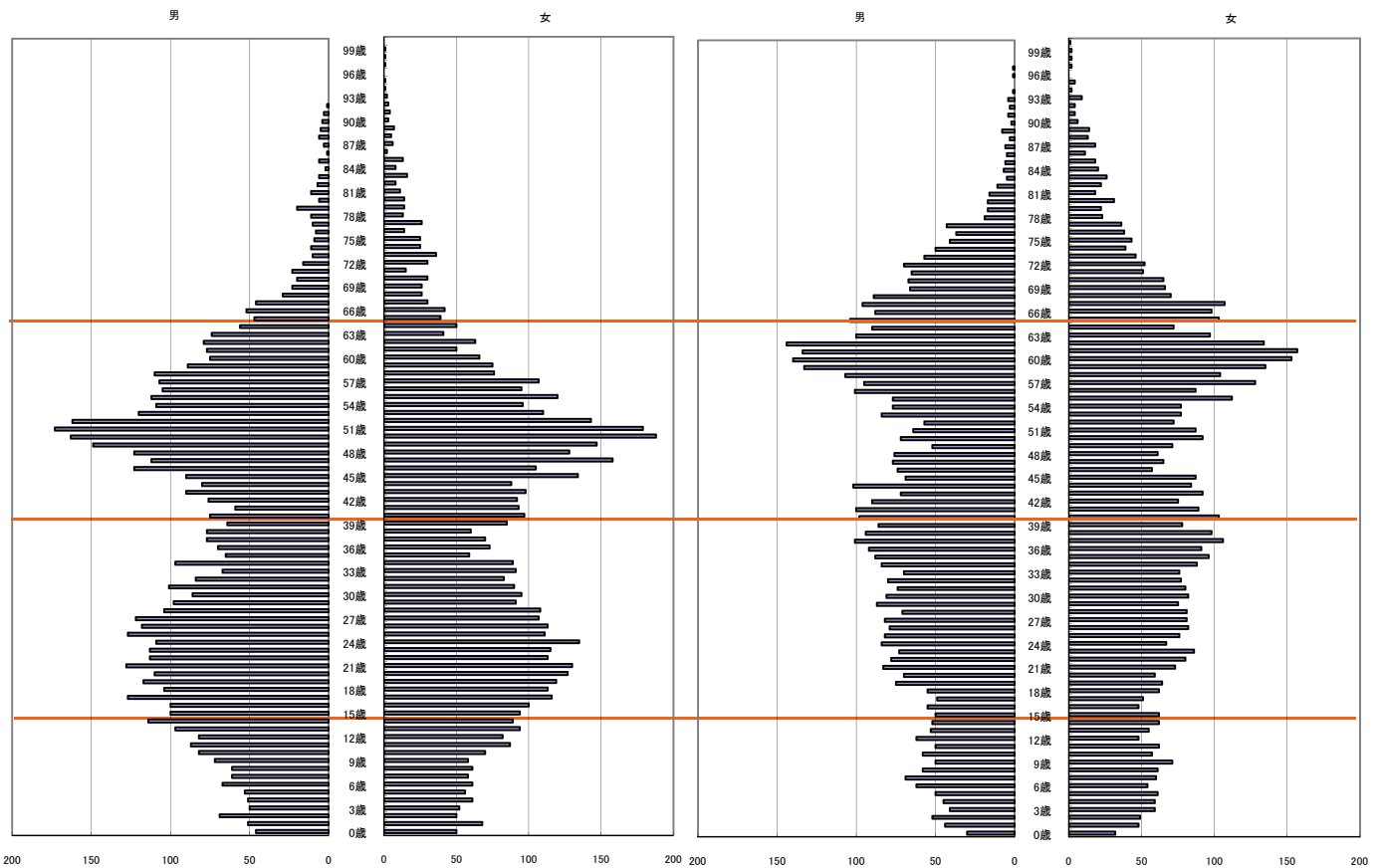
平成21年(2009年)9月末



＜人口ピラミッドの変化＞

平成11年(1999年)9月末

平成21年(2009年)9月末



【霧が丘地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	—	—	—
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	—	—	—
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくりまします。	地区社協	一般	ボランティア相談室（継続） 霧が丘小学校の家庭課等の授業支援（新規）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	—	—	—
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	—	—	—
	3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	—	—	—
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	—	—	—
3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。		区社協	障がい	ひまわり教室（中途障がい者リハビリ教室）（継続）	
4 思いやりのある人を育てる地域をつくりまします。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	福祉保健活動団体	子ども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）	
	2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	—	—	—	
	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	地域ケアプラザ	一般	健康チェックの日（共催：霧が丘保健活動推進委員会）（継続）	
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	—	—	—
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	地域ケアプラザ	高齢	霧が丘地区情報マップ制作委員会（新規）
	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	—	—	—
2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。		地区社協 緑会	一般 高齢	古典朗読会（継続） 太極拳、ゲートボール、グラウンドゴルフ、ベタンク、歩こう会、童謡を歌う会、書道（継続）	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【霧が丘地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地区社協、民生・児童委員	こども	霧が丘子育てサロン（3歳児までの子育て中の人々のサロン）（継続）平成20年5月から霧が丘地域ケアプラザで開催
			区役所	こども	赤ちゃん教室（継続）
			福祉保健活動団体	こども	リフレッシュサロン（継続）乳児親子のティータイムと交流
			福祉保健活動団体、地区社協	高齢	霧が丘会食会（高齢者の昼食会）（継続）
			地区社協	高齢	談話会（高齢者のサロン）（継続）
			地区社協	障がい	霧が丘ひまわり教室（中途障がい者リハ教室）（継続）
			地域ケアプラザ	こども	もくもく会（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	コーラスサロン（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	歌声広場（継続）
			地域ケアプラザ	一般	家族介護者の集い（介護者の交流会）（継続）
	地域ケアプラザ	高齢	囲碁の日（共催：霧が丘囲碁愛好会）		
	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	学校、地区社協	高齢	昔のくらし（霧が丘小学生と高齢者の会食会）（継続）
			学校、地区社協	高齢	昔あそび（高齢者が1年生に昔遊びを教える）（継続）
			学校、地区社協	高齢	ふれあいパーティー（霧が丘小学生と高齢者の談話会）（継続）
学校、地区社協			高齢	小中学校で高齢者疑似体験の授業（新規）	
	2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—	
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	一般	館内にポスターを掲示（継続）
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	館内のポスターの掲示・チラシの設置ならびにインターネットでPR（継続）
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	館内にチラシを設置（継続）
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	館内にチラシを設置（継続）

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【霧が丘地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的にやっていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	地域ケアプラザ	一般	ケアプラザ情報コーナーでファイルを閲覧可能(新規)
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	社協・地区社協	一般	広報紙やふれあいバザー、地域の活行事に参加し、活動の紹介(継続)
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	地域包括支援センターによる情報提供や講座の開催(継続)
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	地域ケアプラザ	一般	利用者懇談会(継続)や地域交流フェスタの開催(新規)
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	地域ケアプラザ	一般	霧が丘地域ケアプラザホームページ(継続)
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	—	—	—
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	地域ケアプラザ	高齢	民生委員や地域住民から適宜情報を得る機会を確保(継続)
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	地域ケアプラザ	高齢	会食や地域の集まりへの参加促し(継続)
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—
	5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	自治会	一般
2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。			—	—	—
3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。			—	—	—
4 ささまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。			自治会	一般	防犯パトロール(継続)
2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—	
	2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—	
3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	—	—	—	
	2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操、講座実施、各種事業支援(継続)	
	3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地域ケアプラザ	高齢	フレスコ体操(継続) いきいき健康講座(新規) 霧が丘探検ウォーキング(新規)	
		区役所	高齢	老人会への介護予防講座(継続)	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

長津田地区

＜地域＞ 長津田1～7丁目、長津田町、いぶき野
長津田みなみ台1～6丁目・7丁目の一部

＜緑区・横浜市との比較＞

- ・ 高齢化率15.09%は、緑区の17.99%より2.9%、横浜市の19.25%より4.16%、それぞれ低くなっている。
- ・ 年少人口(0歳～14歳)の割合15.83%は、緑区の14.88%より0.95%、横浜市の13.47%より2.36%、それぞれ高くなっている。

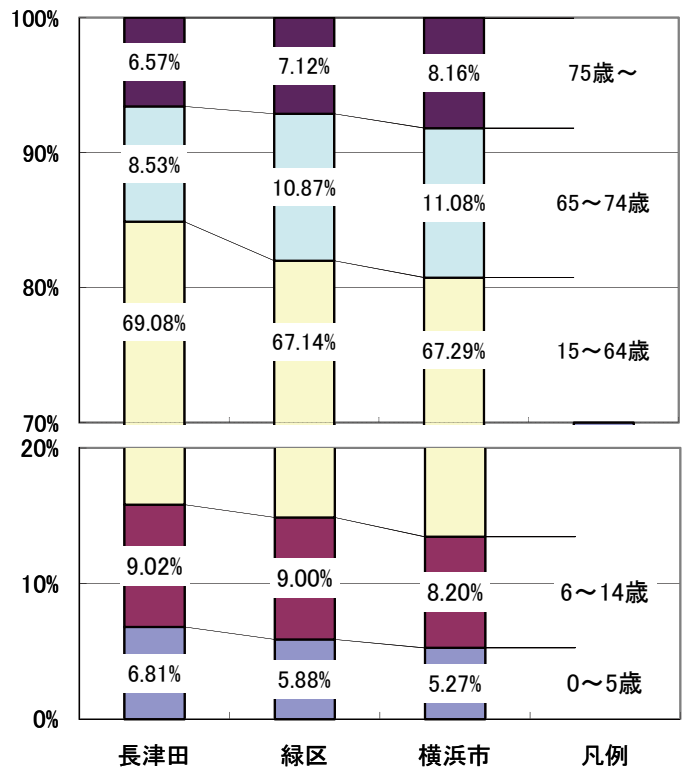
＜年齢区分別人口＞

平成21年(2009年)9月末

	長津田	緑区	横浜市
75歳～	2,288人	12,572人	301,506人
65～74歳	2,971人	19,193人	409,330人
15～64歳	24,066人	118,565人	2,485,354人
6～14歳	3,142人	15,897人	302,685人
0～5歳	2,374人	10,378人	194,509人
合計	34,841人	176,605人	3,693,384人
高齢化率	15.09 %	17.99 %	19.25 %

＜年齢区分別人口の割合＞

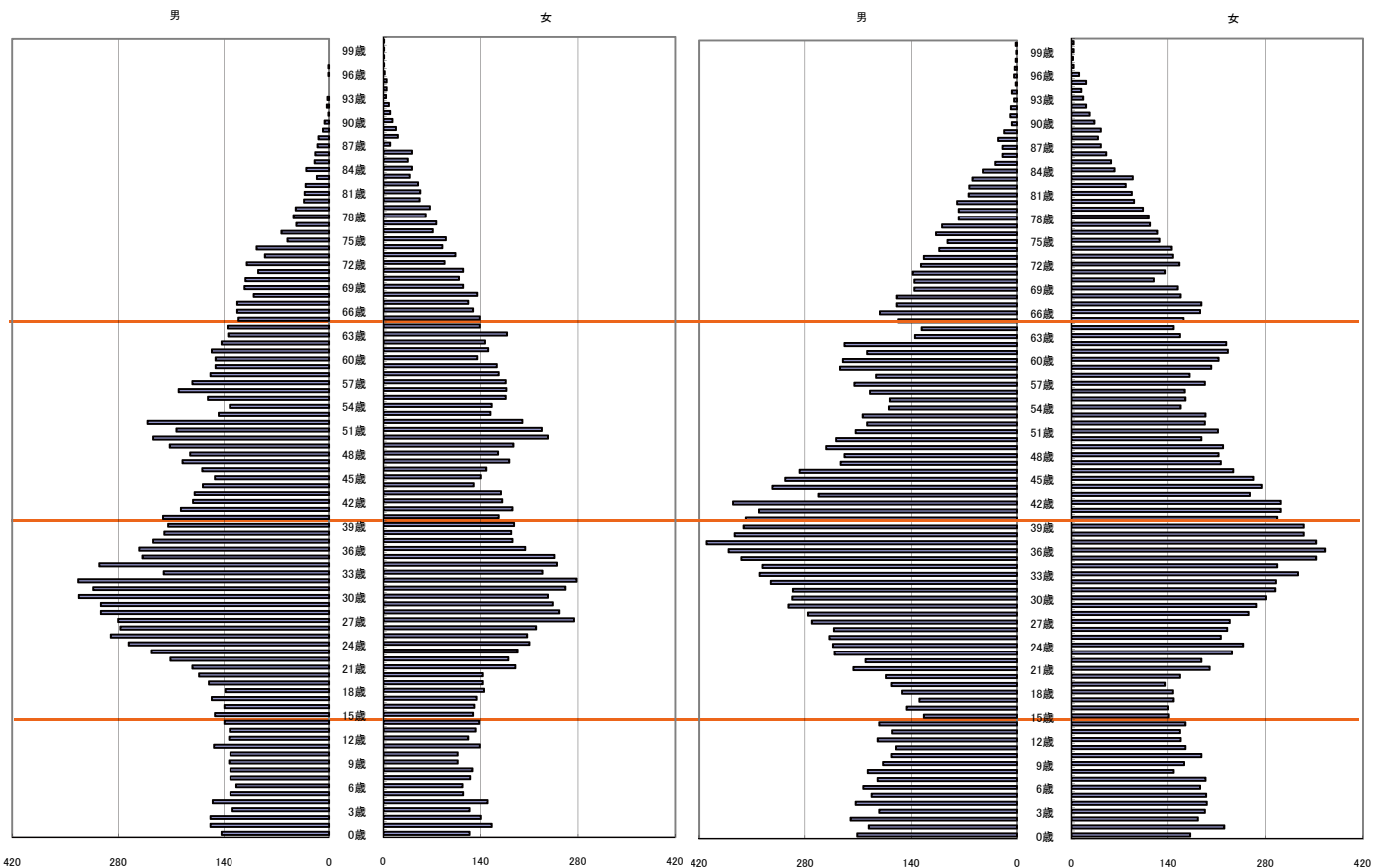
平成21年(2009年)9月末



＜人口ピラミッドの変化＞

平成11年(1999年)9月末

平成21年(2009年)9月末



注)平成21年において、長津田みなみ台7丁目のデータについては、新治西部・十日市場団地地区へ集計しています。

【長津田地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	自治会、各種団体等	一般	単位自治会における防犯パトロールの実施（継続）	
			地域ケアプラザ	高齢	配食ボランティアグループ「たんぼぼ」による高齢者等への配食（継続）	
			PTA、地域住民、主任児童委員、民児協	こども	通学路でのパトロール（継続）	
			地区別計画策定ステップ事業実行委員会	こども	ステップ事業（継続） ・地区社協活動等への中学生の参加 ・農作業体験、等	
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	子供会	こども	子供会活動の活性化（継続）	
			地区社協	こども	福祉作文コンクールの実施（継続）	
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協	一般	毎月1回リサイクル活動でのボランティア受け入れ（継続）	
			地域ケアプラザ	一般	ボランティアの相談・連絡・調整（継続）	
			区社協	一般	ボランティアコーディネーター向け研修（継続）	
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネート知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	区社協	一般	ボランティアコーディネーター向け研修（継続）	
			1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	区社協 地域ケアプラザ 地区センター	一般	団塊世代ボランティアグループの育成（継続）
				—	—	—
2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	—	—	—		
		1 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	—	—	—	
			地域ケアプラザ 区社協 福祉保健活動団体	障がい	障がい者青年学級「みつばち」（継続）	
			地域ケアプラザ	障がい	「遊遊クラブ」50代・60代の中途障がい者の集い（継続）	
3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	地区社協	障がい	リハビリ教室月1回を2カ所で開催（継続）		
		4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	地域ケアプラザ	こども	地域の保育園との交流事業、小・中・高校での「福祉」をテーマにした学習への協力（継続）
				福祉保健活動団体	こども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）
			2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	地区社協	こども	福祉作文コンクールの実施（継続）
				地区別計画策定ステップ事業実行委員会	こども	ステップ事業（継続） ・地区社協活動等への中学生の参加 ・農作業体験、等
3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	地区社協	こども	敬老会の中学生のボランティア（継続）		

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【長津田地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地区社協	一般	集会所を活用した福祉団体の交流（継続）
			地域ケアプラザ	一般	運営協議会開催、地域住民との対話の機会（継続）、部屋の貸出（継続）
2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）		地区社協	一般	集会所を活用した福祉団体の交流（継続）	
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	福祉保健活動団体 区役所 区社協	子ども	子育てお助けBOOK（継続）
2	同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	地域ケアプラザ	子ども	布絵本・布おもちゃ貸出事業（継続）
			地域ケアプラザ	一般	エントランスに「介護情報閲覧コーナー」設置（継続）
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地区社協、連合自治会、健康で心ゆたかに過ごすまちづくりの会 地域ケアプラザ	一般	主催担当団体との協働による事業の実施（継続）
			地域ケアプラザ	一般	ふれあい喫茶「もちーふ」つたのは学園家族会とボランティアによる喫茶室（継続）
			自治会	高齢	長津田団地「茶話おしゃべりの会」（継続）
			福祉保健活動団体	高齢	長津田北屋食会（継続）
			福祉保健活動団体	高齢	いぶき野「おしゃべりサロン」高齢者茶話会（継続）
			福祉保健活動団体	高齢	「いぶきの会」高齢者食事会（継続）
			老人会	高齢	杉山原誠会高齢者食事会・ミニデイサービス（継続）
			老人会	高齢	長津田団地「あざみ会」高齢者食事会・ミニデイサービス（継続）
			地区社協	高齢	「日曜日ハビリ教室（長津田駅北側エリア在住者）」（継続）
			地区社協	高齢	「南長津田ふれあいの会（長津田駅南側エリア在住者）」（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	「すっきり健康体操」高齢者の介護予防の集い（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	「おたのしみくらぶ」高齢者ミニデイ（継続）
			福祉保健活動団体	子ども	「ビーンズ（障がい児対象子育てサロン）」（継続）
			福祉保健活動団体	子ども	「きしゃぼっぽ」（継続）
			地域ケアプラザ	子ども	親子サロン「ほっと・るーむ長津田」未就園児と親の集い（継続）
			地域ケアプラザ	障がい	「遊遊クラブ」50代・60代の中途障がい者の集い（継続）
			地域ケアプラザ 区社協 福祉保健活動団体	障がい	障がい者青年学級「みつばち」（継続）
			区役所 地域ケアプラザ	子ども	プレパパ・プレママ教室（継続）
保育園 区役所	子ども	「みどりっこ」（継続）			
区役所、保健活動推進員、自治会（一部）	子ども	赤ちゃん教室（継続）			

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【長津田地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地域ケアプラザ	高齢	保育園生と通所介護利用者との交流（継続）
			地域ケアプラザ	一般	地域作業所「あしたば工芸」による製造・販売のための出店支援
		2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	地域ケアプラザ	一般	エントランスにチラシ掲示やラックの設置（継続）
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	一般	エントランスにチラシ掲示やラックの設置各種パンフレットの作成（継続）
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	—	長津田地区ケアマネジャー連絡会（継続）
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	地域ケアプラザ	高齢	協力医による健康相談（継続）
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	地区社協	一般	「地区社協だより」の発行（継続）
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	地域ケアプラザ	一般	長津田地域ケアプラザ新聞の発行（継続）
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	地区社協	一般	「地区社協だより」の発行（継続）
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地域ケアプラザ	一般	「介護を学ぶひまわりの会」（継続）
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	エントランスに「介護情報閲覧コーナー」設置（継続）
			地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	一般	ふれあい喫茶「もちーん」（つたのは学園家族会とボランティアによる喫茶室運営（継続）
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	—	—	—
	6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	地域ケアプラザ	一般	暮らしに役立つ講座の各種開催（継続）	
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	地域防災運営委員会 長津田自治連合会 民生委員・児童委員	一般	防災ささえあいカードによる要援護者の把握・支援（継続）
4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	民生委員・児童委員	高齢	ふれあい・あんしん推進事業（継続）	
		—	—	—	
	2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—	
	3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	地域防災運営委員会 長津田自治連合会 民生委員・児童委員	一般	防災ささえあいカードによる要援護者の把握・支援（継続）	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

【長津田地区】

基本 目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	自治会	一般	駐車違反減少キャンペーン（継続）
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	—	—	—
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	自治会、各種団体等	一般	単位自治会における防犯パトロールの実施（継続）
		4 ささまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	自治会	一般	駐車違反減少キャンペーン（継続）
	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	地区社協	高齢	送迎サービス事業（継続）
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	地区社協	高齢	送迎サービス事業（継続）
	3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	地区社協、連合自治会 健康で心ゆたかに過ごす まちづくりの会	一般	町ぐるみ健康づくり教室（継続）
			福祉保健活動団体	高齢	転倒骨折予防教室OB会「上田体操ほほえみクラブ」（継続）
				地域ケアプラザ、区役所	高齢
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	地域ケアプラザ、区役所	高齢	老人会での健康講座実施（継続）
			福祉保健活動団体	高齢	認知症予防なごみ会（継続）
			地域ケアプラザ、区役所	高齢	認知症予防教室実施（継続）
3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。		地域ケアプラザ	高齢	「すっきり健康体操」高齢者の介護予防の集い（継続）	

※平成21年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン地区支援チームが把握している情報のみを掲載しています。

2 区全体での取り組み状況（区役所、区社協、拠点）

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	地域子育て支援拠点「いっぽ」	こども	「いっぽ」なつまつり・クリスマス会
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	緑区生活支援センター みどり地域活動ホーム「あおぞら」 緑区社会福祉協議会 緑区社会福祉協議会 緑区役所（福祉保健課） 地域ケアプラザ	一般 一般 一般	秋祭り「みどりコスモスフェスタ」 地区別計画策定「ステップ事業」 みどりのわ・ささえ愛プラン・「エリアミーティング」の開催
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくりまします。	緑区社会福祉協議会	一般	地域ボランティア相談室の支援
			緑区役所（福祉保健課）	一般	地域ボランティア相談室の設置への支援
			緑区役所（こども家庭支援課）	こども	ほっとホームスティ・サポート事業
			地域子育て支援拠点「いっぽ」 緑区社会福祉協議会	こども	子育てサポートシステムの運営 子育て支援団体のネットワーク化の支援
2	2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	緑区社会福祉協議会	一般	地域ボランティア相談コーディネーターの研修事業	
		緑区社会福祉協議会	一般	地区社協、ケアプラザと共催した各種ボランティア講座	
2	ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	緑区社会福祉協議会	一般	地区社協、ケアプラザと共催した各種ボランティア講座
			地域子育て支援拠点「いっぽ」	一般	保育支援者養成講座
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供	緑区社会福祉協議会	一般	区社協・地区社協情報を区社協ホームページへアップ
			地域子育て支援拠点「いっぽ」	一般	子育て支援者養成講座
3	障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	緑区社会福祉協議会	一般	地域ケアプラザ、緑区生活支援センター、みどり地域活動ホームと共催したボランティア講座
			地域子育て支援拠点「いっぽ」	障がい	発達相談の日の定期開催
			地域子育て支援拠点「いっぽ」	一般	「発達と障がいを考える」「気になる子どもたちと就労」など講座各種
			緑区役所（高齢・障害支援課） 緑区生活支援センター 緑区社会福祉協議会	一般	心の病を知る講座
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	—	—	—
		3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	緑区社会福祉協議会 地域ケアプラザ	一般	学齢障がい児余暇支援事業のボランティアリーダーの育成の共催、障がい者支援ボランティア若年層の拡大
みどり地域活動ホーム「あおぞら」	一般		ボランティア交流会		
4	思いやりのある人を育てる地域をつくりまします。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	緑区社会福祉協議会	こども	福祉教育出前事業
			緑区役所（こども家庭支援課）	こども	中学生と赤ちゃんのふれあい体験
		2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	緑区社会福祉協議会	こども	福祉教育学校助成金
			緑区役所（地域振興課）	こども	学校・地域連携支援事業（中学生の職場体験・学習活動支援）
			緑区役所（地域振興課）	一般	市民活動パワーアップ支援事業（団塊世代に向け地域活動参加に向けて）
緑区役所（地域振興課）	一般	地域課題チャレンジ提案事業（区と協働し地域課題に取り組む団体へ支援と補助金交付）			

2 区全体での取り組み状況（区役所、区社協、拠点）

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
2	4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	緑区社会福祉協議会 緑区役所（福祉保健課）	子ども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育支援事業
			緑区役所（高齢・障害支援課）	障がい	障害者音楽交流会「フェスタみどりのわ」事業
			緑区役所（子ども家庭支援課）	子ども	子育て活動グループ支援
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	みどり地域活動ホーム「あおぞら」	子ども	おもちゃ文庫（絵本おもちゃの貸し出し・読み聞かせなど）
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	地域ケアプラザ 緑区社会福祉協議会 緑区役所	一般	地区社協ガイドマップ作成支援 団塊の世代向け地域情報冊子作成支援
	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。 2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	緑区役所（子ども家庭支援課） 地域ケアプラザ 共催	子ども	プレパパ・プレママ講座
			地域子育て支援拠点「いっぽ」 緑区社会福祉協議会、緑区役所（子ども家庭支援課）	子ども	子育て支援フォーラム
			緑区社会福祉協議会 緑区役所（福祉保健課）	一般	地域活動団体交流会「オトナの一斉一会」の開催
			緑区役所（福祉保健課）	高齢	シルバーフェスティバル（演芸・囲碁将棋大会）
			緑区役所（子ども家庭支援課）	子ども	子育て支援者事業の実施
			緑区役所（子ども家庭支援課）	子ども	赤ちゃん教室（育児支援）
			緑区役所（サービス課）	子ども	親子の居場所の運営支援（はなまる）
			緑区役所（子ども家庭支援課）	子ども	あつまれ！みどりっこまつり（育児に関する情報提供・イベント）
			緑区役所（地域振興課）	子ども	青少年地域サポート事業（居場所作りやボランティア支援）
			緑区役所（子ども家庭支援課）	子ども	不登校児を持つ親の会（ほっとみどり）
			緑区役所（福祉保健課）	一般	みどりヘルスアップ推進事業（健康づくりへの意識を高めるイベントなど）
			地域子育て支援拠点「いっぽ」	子ども	ひろば行事（おしゃべりサロン・手形作り・スチールパンコンサート、パパサロンなど多数）
地域子育て支援拠点「いっぽ」	一般	学習会・各種講座（リフレッシュ講座・コミュニケーション講座など）			
地域子育て支援拠点「いっぽ」	一般	サークル交流会			
緑区生活支援センター	障がい	くつろぎの場の提供、仲間作り・自立活動グループへの支援・自主事業の提供			
みどり地域活動ホーム「あおぞら」	障がい	余暇支援事業（シアター・バスケット・カラオケなど）			
3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしています。	緑区社会福祉協議会	一般	ハーモニーみどりふれあいまつりの開催	
		緑区役所（地域振興課）	子ども	子ども達の夢の緑区づくり「子ども会議」 夢みどり50プランの発表	
	2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—	

2 区全体での取り組み状況（区役所、区社協、拠点）

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	緑区社会福祉協議会 緑区役所（サービス課）	一般	みずほ銀行の協力 障がい者の日キャンペーンパネル展示
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	緑区社会福祉協議会	一般	地区社協出張研修
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	緑区社会福祉協議会	一般	社協新聞による各種事業、活動のPR
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	緑区社会福祉協議会	一般	社協新聞による相談コーナーPR
			緑区役所（こども家庭支援課）	一般	DV対策事業
			緑区生活支援センター	障がい	相談支援事業
	地域子育て支援拠点「いっぽ」		こども	相談支援事業	
	みどり地域活動ホーム「あおぞら」	障がい	相談支援事業		
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	緑区社会福祉協議会	一般	地区社協情報を区社協ホームページにおいて発信
			緑区役所（福祉保健課）	一般	「みどり ひと・まちナビ」（インターネットによる情報提供）
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	緑区役所（サービス課）	こども	子育て新聞の発行
			緑区生活支援センター	障がい	センターだより「四季の森」発行
			地域子育て支援拠点「いっぽ」	こども	子育て通信「いっぽ」発行
			みどり地域活動ホーム「あおぞら」	障がい	広報紙「そらからのてがみ」発行
みどり地域活動ホーム「あおぞら」		こども	情報誌「はぐくみ」の発行		
3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。		緑区社会福祉協議会	一般	区社協HPやボランティア向けパンフレットでのPR	
4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。		緑区役所（こども家庭支援課）	こども	子育て応援ガイドブックの発行	
		緑区役所（生活衛生課）	一般	暮らしの生活衛生推進事業（食品・居住衛生などの情報提供）	
		緑区役所（高齢・障害支援課）	高齢	福祉保健の総合相談	
		緑区役所（こども家庭支援課）	こども	保育園地域応援事業（保育園での情報提供）	
緑区役所（こども家庭支援課）		こども	こんにちは赤ちゃん訪問事業		
5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	—	—	—		
6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	緑区社会福祉協議会 緑区役所（高齢・障害支援課）	障がい	「学齢障がい児の余暇を考える会」で情報収集・提供の検討		
3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—	
	2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	緑区社会福祉協議会 緑区役所（福祉保健課）	障がい	障がい者のための「やさしい防災マニュアル」の発行、パンダ配布	
緑区生活支援センター		障がい	生活情報の収集と提供 障がいに対する普及啓発活動		

2 区全体での取り組み状況（区役所、区社協、拠点）

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
4	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	緑区役所（福祉保健課）	高齢	ふれあい・あんしん推進事業（ふれあいコール）	
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—	
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	緑区社会福祉協議会	一般	地区社協出張研修（個人情報保護）を希望地区に実施	
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるように取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	緑区役所（高齢・障害支援課） 緑区社会福祉協議会	障がい 障がい	精神障がい者家族安心入院支援事業 地区社協や施設と協力して障がいのある方が安全に避難できるよう防災訓練を実施	
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	緑区社会福祉協議会 区役所	障がい	コミュニケーションボードの配布	
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	緑区役所（総務課・福祉保健課）	一般	災害時要援護者把握支援事業「防災ささえあいカード」の取り組み	
			緑区役所（総務課）	一般	地域防災関係団体・ボランティアによる横断的ネットワーク事業	
			緑区社会福祉協議会	一般	山下地区地域防災マップ作成支援	
		4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	緑区役所（地域振興課）	子ども	子どもの安全支援事業（防犯情報のメール配信等）	
			緑区役所（地域振興課）	一般	地域防犯力の強化（緑区防犯情報メールの配信）	
			緑区役所（地域振興課）	一般	地域防犯活動の支援、防犯リーダー養成講座	
		2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすきよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—
			2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	緑区社会福祉協議会	障がい	知的障がい児送迎事業対象者拡大
緑区役所（高齢・障害支援課）	障がい 高齢			要援護者（高齢者・知的障がい児等）の移送活動の助成		
3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	緑区役所（福祉保健課）	一般	健康づくり月間行事、思いやり健康づくりの日事業		
		緑区役所（福祉保健課）	一般	健康づくり講演会の開催、健康たうん・みどり推進事業		
		緑区役所（子ども家庭支援課）	子ども	はつらつ1歳児はみがき指導		
		地域子育て支援拠点「いっほ」	子ども	食育講座（おやつ作り）、親子体操・フラダンス、リフレッシュ講座		
	2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広がっていきます。	保健活動推進員	一般	各種健康講座		
	3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	緑区役所（高齢・障害支援課） 地域ケアプラザ	高齢	認知症予防講演会、脳活き活き教室、脳いきいきウォーキング講座、体力向上プログラム		

IV. 協働で計画を推進するための事業について

1 「地区別計画策定ステップ事業」報告

地区別計画策定ステップ事業

わが地区ならではの福祉活動、課題や可能性を住民主体で見つめなおし、“地区別計画”策定を目指し事業等を通じてその基盤づくりと取り組みを進めます。

活動者とサポートを必要な方の代弁者・両方の顔を持つ地区社協が主体となり、地区ならではの福祉活動の課題や可能性を、

①発見 → ②発信 → ③参画 → ④充実・達成 → ⑤再発見
のステップで検証、地区が一丸となって計画づくりに
取り組める基盤づくりを行います。

〈連合自治会単位・地区社協モデル地区で展開〉

- この事業は、住まう人皆が“計画が必要なんだ、計画をつくっていこう”という土壌づくりを、段階（＝ステップ）を踏んで地区社協を中心にすすめていこうとする事業です。
- 自治会や民生委員をはじめ、住民の理解と協力を得て、地区特性を活かした取り組みを行っています。

計5地区で展開

継続4地区（白山・山下・霧が丘・長津田）に

21年度からの新規1地区（東本郷）が加わり、5地区で展開しました。

今年度の実施状況

	主なテーマ・特徴	具体的活動	今後の展開
東本郷	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民自身が平素から感じていることや考えをアンケート聴取し、地域の福祉活動に採り入れていくとともに、若い世代との交流や参画を得られるようにする。 ● 実行委員会立ち上げ、構成団体の連携強化、分析結果をフィードバックする。 	<p>実行委員会を中心に、地域における活動内容と課題を共有する目的のアンケートを実施。</p> <p>目的の確認、項目・内容・対象を検討し、共有した活動内容と課題をベースに作成したものを、全世帯配布した。</p>	<p>地区の現状と期待される活動など集計結果を分析し、地区別計画策定への参考資料として活用していく予定</p>
白山	<ul style="list-style-type: none"> ● 全世帯配布する「おたがいさまカード」でニーズをつかみ、手助けできる方（シーズ）対象にアンケート調査、双方のためのボランティア相談室を開設する。 ● 「おたがいさまカード」によりつながりと信頼を醸成し安心のまちづくりの完成度を高める。 	<p>単位自治会毎に全世帯へ「おたがいさまカード」（様式・手続等は統一）を配布し回収。</p> <p>サポートを要する方対象のカードと手助けできる方対象のカードと、それぞれから地区内のニーズとその緊急性の把握や担い手の傾向などを、自治会・民生委員・各種団体とも共有した。</p>	<p>カードから上がる相談などの調整窓口となる、ボランティア相談室開設にむけて、サポートを要する方への訪問やコーディネーターの募集など進めていく。</p>

	主なテーマ・特徴	具体的活動	今後の展開
山下	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の特徴を把握してニーズに合った方策を検討する。 ● 高齢者が容易に集まれる範囲での小地域での交流の場づくりをすすめることで、日常的な交流が結果的に防災につながるように企画する。 ● 小地域での高齢者交流の機会づくりを、各自治会でのキーマンを掘り起こしながら進める。 	<p>消防署などの意見を参考に、旭区の老人会の活動にヒントを得た「あんしんカード」を完成させ、前年度作成「防災データマップ」とともに、健康教室や老人会などを中心に周知を図っている。</p> <p>また、まちぐるみ健康体操の立ち上げ支援をした。</p>	<p>地域の中での活動の活性化を目指し、地区社協の拠点の山下交流センターのほか、出前型でも活動していく。</p>
霧が丘	<ul style="list-style-type: none"> ● 潜在ニーズである理美容・配食等の在宅サービス提供のためのコーディネート拡大を中心に、地区福祉活動の見直し・整理・ネットワークづくりを行う。 ● ボランティア相談室を通じた調整(予定) 	<p>敬老の日のお祝い訪問時に、配食・理美容サービス利用のアンケートを実施した結果、配食サービス希望数を把握。</p> <p>12/22, 1/19, 2/16に配食サービスについて検討会を実施した。</p>	<p>サービス具体化に向け、継続検討していく。</p>
長津田	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもと地区内活動者が「一緒につくりあげる」姿勢のもと、地区社協事業、学校行事、農作業体験などでの交流や事業を通じて、子どもや保護者が地域に相談しやすい関係づくりを図る。 ● 子どもと地域活動者、障がい当事者等とで「一緒に作り上げる活動」を実行委員会で検討。 	<p>実行委員会を中心に、田奈中福祉委員主体の「いぶき野昼食会」、「地区社協リハビリ教室」参加、長津田第二小生徒との「農作業体験」、長津田小「野草園」見学、長津田こども園「竹馬の製作・指導」をした。</p>	<p>各活動の結果をふり返し、次年度以降の内容について検討する。</p> <p>長津田こども園には子ども達の成果発表のため運動会に招かれる予定</p>

2 「地区ボランティアセンター」設置運営報告

地区ボランティアセンター

みどりのわ・ささえ愛プラン・リーディング事業「地域ボランティア相談室の設置・運営」において、身近な地域のボランティアの相談窓口の、地区社協単位での開設と運営を支援します。

平成21年度、区内3ヶ所目が竹山地区に開所しました。

開設状況

	名称・連絡先	拠点・受付時間
東本郷	【東本郷ボランティアセンター】 TEL 473-7670	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発足：平成12年 7月～ ■ 東本郷ケアプラザ内相談室 ■ 月～金 9:30～12:30 ■ 電話・来所で受付
霧が丘	【霧が丘地区ボランティア相談室】 TEL 090-8949-3786	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発足：平成19年 3月～ ■ 拠点なし(携帯電話) ■ 月～金 10:00～14:00 ■ 電話・訪問で受付
竹山	【竹山ボランティアセンター】 TEL 934-5861	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発足：平成21年10月～ ■ 竹山自治会館内社協事務室 ■ 月～金 10:00～12:00 ■ 電話・来所で受付

地域ぐるみで支えあう活動の一環で、地区社協による「地区ボランティアセンター」（地区ボラセン）の設置運営が進んでいます。

地区ボラセンは、その地区の生活の困りごとを地域ぐるみでサポートする、またボランティア活動に参画したい方の相談調整の窓口です。

いずれも区社協や地域ケアプラザと連携を図り、地区ならではの福祉情報センター機能も持っています。

区内全世帯配布の
社協だより みどり
「ボランティアセンター
だより」欄で活動を
紹介しています。

3 「オトナの一期一会」開催報告

「オトナの一期一会」

地域で活動する自治会などの地縁型組織と、子育てグループなどのテーマ型組織、それら地域活動の活性化を目指して『新しい人材を呼び込む！』をテーマに、日々の活動のなかで互いに交流する機会づくりの一環として、19年度に「みどり知っとこやっこフォーラム」を、20年度には地域の福祉活動団体、市民活動団体の有志に企画段階から入っていただき、現在の「座談会」形式に至りました。



→「座談会」が、また一歩進んだ人材交流の輪に成長しています

活動をざっくばらんに語り合えることで現状を知る、本音の情報交換ができる場として座談会を開催し、互いに「参加・体験⇄交流・共有」のやり取り（また一歩進んだ人材交流の輪）が進むよう取り組んでいます。

今年度計3回、延べ10回の取組み結果をふまえ、来年度にむけての検討準備会を開催し、より活動者中心での、分野を超えた人材交流と発展について、効果的な展開方法を考えていきます。

<p>(1) 検討・(2) 意見交換 会から発展</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の会を知って欲しいし、他の会のことも聞きたい。 ・話しを聞くためには、顔見知りになって、そこからつながりが生まれていく。 ・みんなが現状を知る、情報交換を温かい雰囲気のできる場。 ・福祉系活動と市民活動をつなぐ場。
<p>(3) 座談会</p> <p>H21年度</p> <p>第3回 5月21日</p> <p>第4回 8月20日</p> <p>第5回 11月19日</p>	<p>→現状を知る、本音の情報交換ができる場としての「一期一会」へ</p> <p>第3回／座談会 及び 緑区の災害時要援護者への支援 について</p> <p>第4回／座談会 及び 緑区の福祉教育 について</p> <p>第5回／座談会 及び 今後の運営 について</p>
<p>8/20は福祉教育、「緑ハートバリアフリー実行委員会」メンバーの関東さんをゲストに、学齢期児童のボランティア活動への受入や出前授業などについて語り合いました！</p>	
<p>(4) 検討準備会</p> <p>第1回 1月25日</p> <p>第2回 3月 1日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際に行ってみてわかったことが多かった ● それぞれの団体を結びつける機会や場所の設定が必要 <p>↓</p> <p>より活動者中心での分野を超えた人材交流と発展について、効果的な展開方法を考えていく</p>
<p>→より当事者中心の「一期一会」へ</p>	



4 「緑ハートバリアフリー実行委員会」活動報告

緑ハートバリアフリー実行委員会

平成18年にスタートしたこの会では、障がいのある人や家族、地域ボランティアが障がいについての理解を、障がい者自身の立場に立って話すことで、「障がいがあってもなくてもみんな同じ」・・・「障がいの理解」「障がい者にどんなサポートが必要か」「どんな風に付き合えばよいのか」といった内容を、障がい者の講演、寸劇、疑似体験などで伝える活動をしています。

出前授業も回を重ね、例年出向く回数も増えました。今年度は、事前打ち合わせから学校に出向き、PTAやボランティアグループなどへ働きかけた結果、幅広い世代と人材が協力しての充実した授業とすることができました。ケアプラザからも参加協力いただいています。

要望が多かった「視覚障がい者の理解」については、新たにパンフレットを作成していきます。

【今年度の実施状況】 延17回、約2,600人を対象に活動しました(含協力者) (平成22年2月28日現在)

月	日	曜日	時間	対象	学年	人数	テーマ	内容	協力団体・者
5月	7日	木	15:30~17:00	東鴨居中	1	16	実行委員事前学習 ①視覚障がい②車いす	アイマスク誘導体験・白杖体験 車いす介助	緑ハートバリアフリー実行委員会 東本郷地区リハビリ教室なすびの 花の会
	27日	水	9:00~12:00	東鴨居中	1	155	①視覚障がい ②車いす	アイマスク誘導体験・白杖体験 ブラインドマラソン 車いす介助 車いすバスケ	東本郷地域ケアプラザ 横浜ラポール PTA
6月	22日	月	13:10~15:30	神奈川大学 附属中	3	228	視覚障がい	講演・アイマスク誘導体験 ブラインドマラソン	緑ハートバリアフリー実行委員会
7月	13日	月	9:00~12:15	三保小	4	172	①視覚障がい ②聴覚障がい	①講演・アイマスク誘導体験 ②講演・指文字、手話	緑ハートバリアフリー実行委員会 三保地区社協ちよこつとサポーター PTA
9月	25日	金	10:45~12:15	上山小	4	79	視覚障がい	講演・アイマスク誘導体験・ふれあ いタイム・給食(クックボジション)	緑ハートバリアフリー実行委員会 PTA
10月	2日	金	12:30~14:30	中山中	全	800	視覚障がい理解を 通じての道徳学習	講演・代表生徒のアイマスク誘導体 験	緑ハートバリアフリー実行委員会
	21日	水	10:50~12:25	森の台小	4	170	視覚障がい	講演・アイマスク誘導体験・給食 (クックボジション)	緑ハートバリアフリー実行委員会 PTA
	25日	日	10:00~12:00	新治中部 フェスティバル	-	50	[テナント出展]	体験コーナー (点字・手話・車いす)	緑ハートバリアフリー実行委員会
	27日	火	10:40~12:10	霧が丘小	3	118	目に見えない障がい 視覚障がい 聴覚障がい	3つの障がいの寸劇上演	緑ハートバリアフリー実行委員会 霧が丘地域ケアプラザ
	28日	水	10:35~12:05	中山小	4	73	視覚障がい	講演・アイマスク誘導体験	緑ハートバリアフリー実行委員会 PTA
	30日	金	10:40~12:15	長津田第二小	4	112	視覚障がい	講演・アイマスク誘導体験	緑ハートバリアフリー実行委員会 長津田地域ケアプラザ PTA
11月	5日	木	10:40~12:10	山下小	4	102	視覚障がい	講演・アイマスク誘導体験・代表生 徒のブラインドマラソン	緑ハートバリアフリー実行委員会 PTA
	12日	木	10:45~12:15	緑小	5	170	視覚障がい	講演・アイマスク誘導体験	緑ハートバリアフリー実行委員会 PTA
	19日	木	8:50~10:25	森の台小	4	33	聴覚障がい	講演・指文字、手話	緑ハートバリアフリー実行委員会
12月	1日	火	10:30~12:05	中山小	4	73	目に見えない障がい 視覚障がい 聴覚障がい	3つの障がいの寸劇上演・代表生徒 の劇参加	緑ハートバリアフリー実行委員会
	4日	金	9:40~10:40	東本郷小	4	171	盲導犬	講演	緑ハートバリアフリー実行委員会
	22日	火	15:00~17:00	緑区役所	-	40	[人権研修として] 視覚障がい	講演・アイマスク誘導体験、白杖体 験、盲導犬ユーザー体験	緑ハートバリアフリー実行委員会

第28回

緑区 社会福祉大会

みんなで進めよう！

みどりのわ ・ささえ愛プラン

(緑区地域福祉保健計画・地域福祉活動計画)

「一人ひとりが主役
・共に支えあうまちづくり」

平成22年2月24日(水) 緑公会堂 午後2時～4時



【第2部 プログラム】



1 第1期から第2期計画へ

～みどりのわ・ささえ愛プランの推進にむけて～



2 講演会「住民が創り出す地域の未来」

講師：加山 弾 先生 (東洋大学 社会学部社会福祉学科 准教授)

兵庫県明石市の事例を交えながら「絵に描いた餅にならないしくみづくり」や、「地域の井戸端会議と人材活用策」など、地域福祉保健計画づくりについて、わかりやすく説明していただきます。

講師紹介

加山 弾 (かやま・だん)

東洋大学 社会学部社会福祉学科 准教授

東京都、中野区、練馬区の審議会等の委員のほか、社会福祉協議会の評議員等に着任。

●専門分野●

地域福祉論、コミュニティワーク論、ソーシャル・インクルージョン、社会福祉学修士、社会福祉士

●主な教歴●

2002年9月～03年9月 大阪人間科学大学・非常勤助手

2004年4月～06年3月 関西学院大学社会学部・実習助手

2006年4月～ 東洋大学社会学部に着任

2007年4月～ 明治大学文学部・非常勤講師

●主 著●

・加山弾監修, 栃木県社会福祉協議会・とちぎ社協コミュニティワーク研究会編, 2009

『社協コミュニティワーカーさぽーと・ぶっく 黒子読本』

・小澤潤・秋元美世編, 2008, 『社会の理解』(共著), メヂカルフレンド社

・内閣府政策統括官編, 2008, 『ユースアドバイザー養成プログラム～関係機関の連携による個別的・継続的な若者支援体制の確立に向けて～』(共著)

・井村圭壯・豊田正利編, 2008, 『地域福祉の原理と方法』(共著), 学文社. ほか

「住民が創り出す地域の未来～第2期計画策定に向けて～」講演会報告

平成22年2月24日（水）、第28回 緑区社会福祉大会第2部プログラムとして、講演会「住民が創り出す地域の未来～みどりのわ・ささえ愛プランの第2期計画策定に向けて～」が開催されました。



当日は春めいた暖かさを感じられる穏やかな陽気で、第1部・第2部を通じて、およそ470名の区民の方々にご参加いただきました。

講演会では、はじめに「第1期から第2期計画へ～みどりのわ・ささえ愛プランの推進にむけて～」のテーマで、推進に向けた緑区の取り組みについて、緑区役所から説明を行いました。

続いて「住民が創り出す地域の未来～みどりのわ・ささえ愛プランの第2期計画策定に向けて～」のテーマで、地域福祉計画づくりについて、東洋大学社会福祉学科准教授の加山弾先生にご講演いただきました。

講演では「少子高齢化」や「経済不況・雇用の不安定化」などの話題を交えながら、「地域」が変化していることにふれ、地域福祉計画づくりにおいては

「問題発生の場合」であり「問題解決の場合」でもある「地域」を中心とした

- (1) 問題の把握と対策
- (2) 資源把握→組織化の方向づけ
- (3) 住民の福祉意識醸成とコミュニティづくり が必要であること、

また、第1期計画から第2期計画へ移行するにあたり、

- (1) 「第1期計画」を「誰がどのようにして」評価するのか
 - (2) 第2期計画との連続性と差異性（上乘せ・レベルアップ）をどのように図っていくのか
- を考える必要があるとの話がありました。

その後、加山先生が携わられた兵庫県明石市での地域福祉計画づくりの映像を交えながら、「地域の課題は私たちの身のまわりにあります。地域住民が自らの課題として主体的に取り組んでこそ、解決に近づけることができます。」との解説がありました。

(平成22年2月24日 緑区社会福祉協議会)

VI. 『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート調査結果

1 調査概要

〈調査目的〉	第1期計画策定から4年経過した現在における、区民の皆様の福祉保健に関する意識と、みどりのわ・ささえ愛プランに対するご意見とを伺い、第2期計画策定の基礎資料とする。
〈実施期間〉	平成21年10月15日(木)調査票発送 ~ 11月2日(月)投函締切
〈調査対象〉	20歳以上の緑区民 3,000人
〈抽出方法〉	住民基本台帳からの無作為抽出による

2 調査結果

〈有効回収数〉	1,013人
〈回収率〉	33.8%

◇ 調査結果の中から、「みどりのわ・ささえ愛プラン」基本目標1～5に沿った内容を抜粋しています。

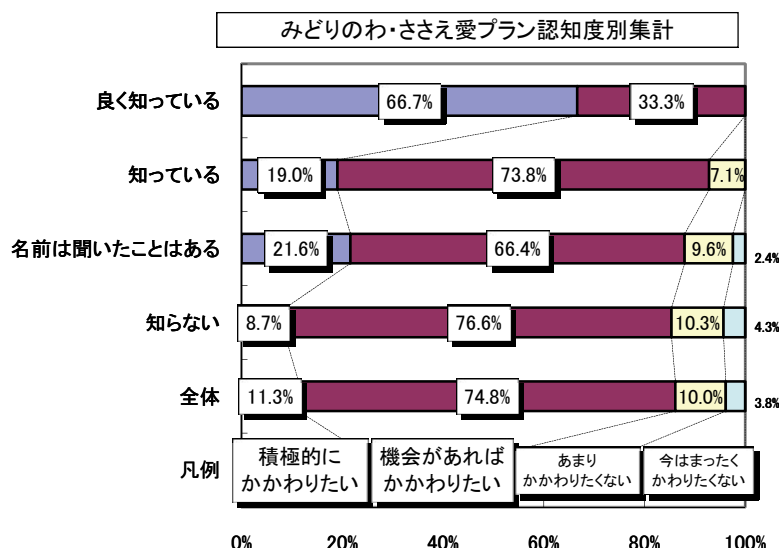
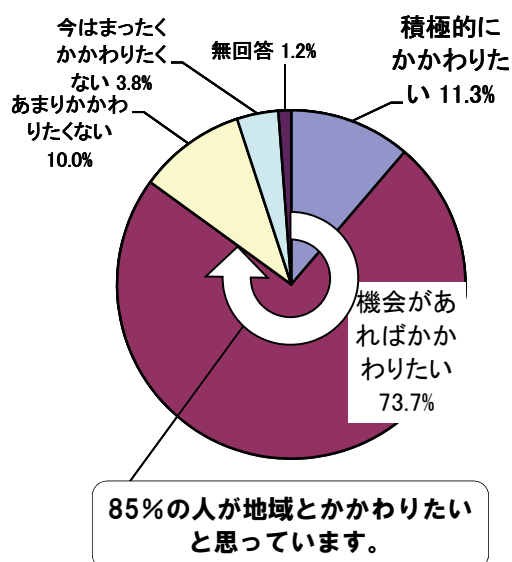
基本目標1 地域での「つながり」を大切にするまちづくり

～地域の方とかかわりたいと思う程度について～

●あなたは今後、地域の方(子どもも含めて)とどの程度かかわりたいですか？[問12]

地域の方とのかかわりについては、「機会があればかかわりたい」「積極的にかかわりたい」を合わせると、85%の方が地域の方とかかわりたいと思っています。

みどりのわ・ささえ愛プラン認知度別集計を見ると、プランを良く知っている人ほど、地域の方とかかわりたいと思っています。



《区民の声》(自由意見欄から)



・みどりのわ・ささえ愛プランの基本目標によって、人々のつながりができたら素晴らしい区になると思います。(70代女性)

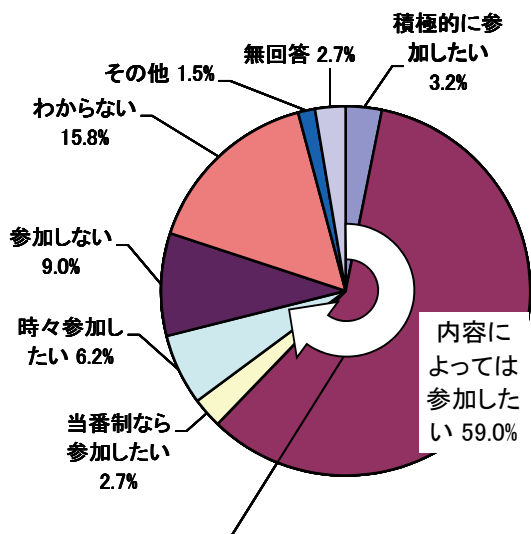


・地域住民が顔見知りとなり、お互いに協力してささえあえる雰囲気づくりが大切だと思います。(40代男性)

基本目標2 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり

～地域のボランティア活動への参加依頼に対する対応について～

●あなたが今後、地域のボランティア活動への参加依頼があった場合どうしますか？〔問16〕



約7割（71.1%）の方が地域のボランティア活動への関心を持っています。

地域のボランティア活動への参加依頼に対しては、「内容によっては参加したい」が59.0%と最も多く、「積極的に参加したい」、「当番制なら参加したい」、「時々参加したい」を含めると、約7割の方が地域のボランティア活動への関心を持っています。

《区民の声》（自由意見欄から）



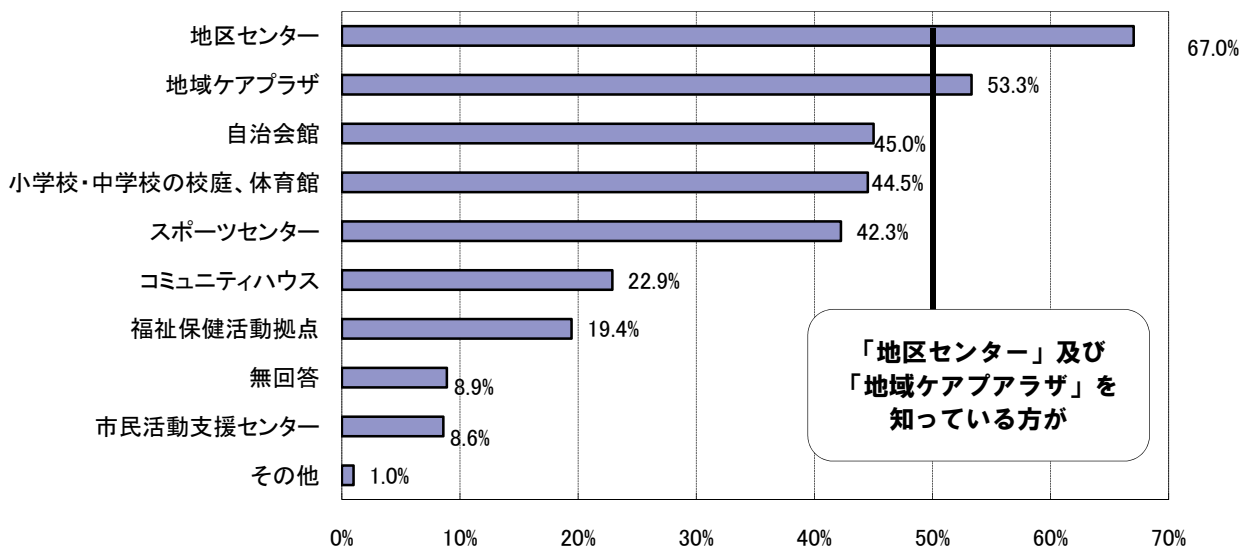
・中高年の人が経験や特技を生かしてボランティアに気軽に参加できるようになればよいと思います。（50代女性）

基本目標3 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり

～地域のボランティア活動・余暇活動に利用できる施設の認知度について～

●あなたは地域のボランティア活動・余暇活動に利用できるものとして次の施設を知っていますか？〔問17〕

地域のボランティア活動・余暇活動に利用できる施設では、「地区センター」及び「地域ケアプラザ」を知っている方が5割を超えています。また、自治会館、小中学校の校庭・体育館、スポーツセンター等の施設がよく知られています。



「地区センター」及び「地域ケアプラザ」を知っている方が

《区民の声》（自由意見欄から）

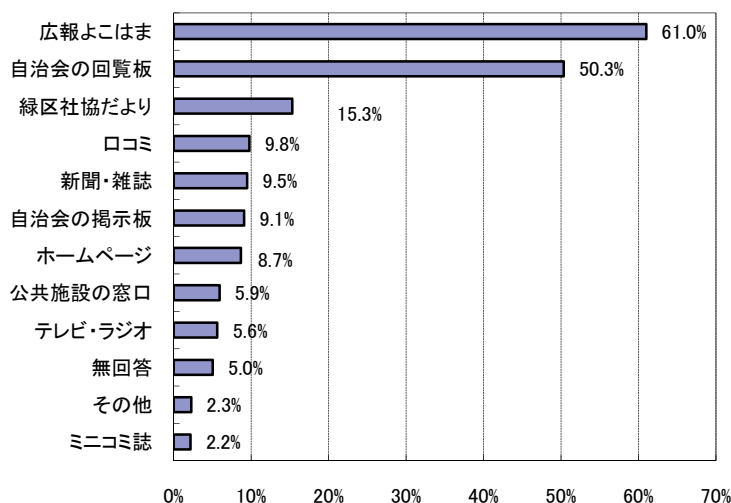


・いろいろな人との交流できる場がたくさんあって、誰もが顔見知りでいられるとよいと思います。（30代女性）

基本目標4 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

～地域の福祉保健に関する情報の入手方法について～

●あなたは、地域の福祉保健情報をどのような手段で得ることが多いですか？〔問22〕



地域の福祉保健情報を知る手段は、「広報よこはま」が約6割、「自治会の回覧板」が約5割となっています。
また、「緑区社協だより」、「口コミ」、「新聞・雑誌」、「自治会の掲示板」、「ホームページ」等が活用されています。

《区民の声》（自由意見欄から）



・広報紙は読みやすいですが、さらに進んで読むのが楽しい紙面づくりをお願いします。（60代女性）



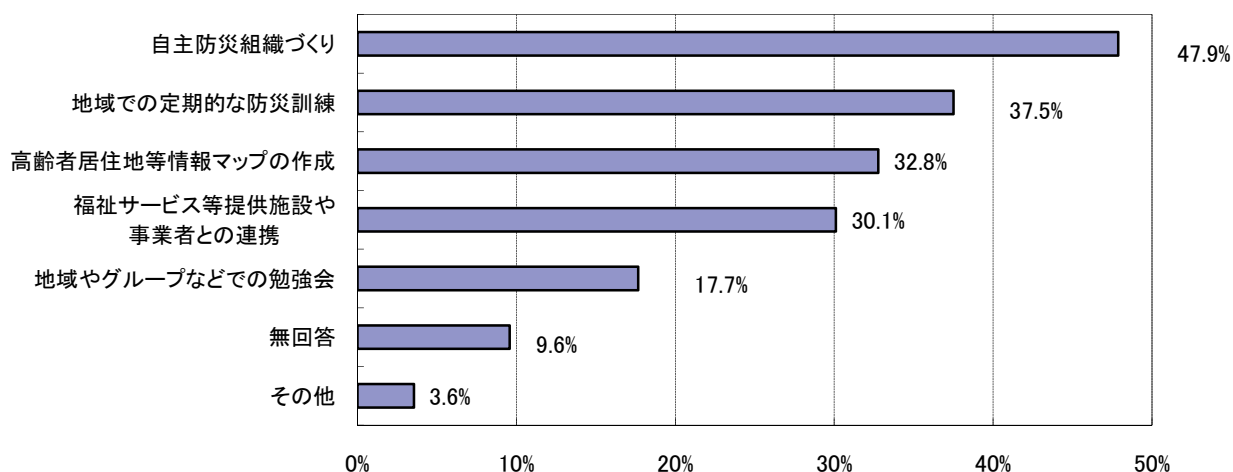
・みどりのわ・ささえ愛プランを知らなかったもので、ホームページを覗いて見ようと思います。（50代男性）

基本目標5 「安心・安全・健康」のまちづくり

～災害時に備えて住民がささえあう地域づくりをすすめるために必要なことについて～

●あなたは「災害時に住民がささえあう地域づくり」には何が必要だと思われますか？〔問28〕

「災害時に住民がささえあう地域づくり」では、「自主防災組織づくり」が約5割で必要とされています。また、防災訓練や情報マップ、施設や事業者との連携も求められています。



《区民の声》（自由意見欄から）



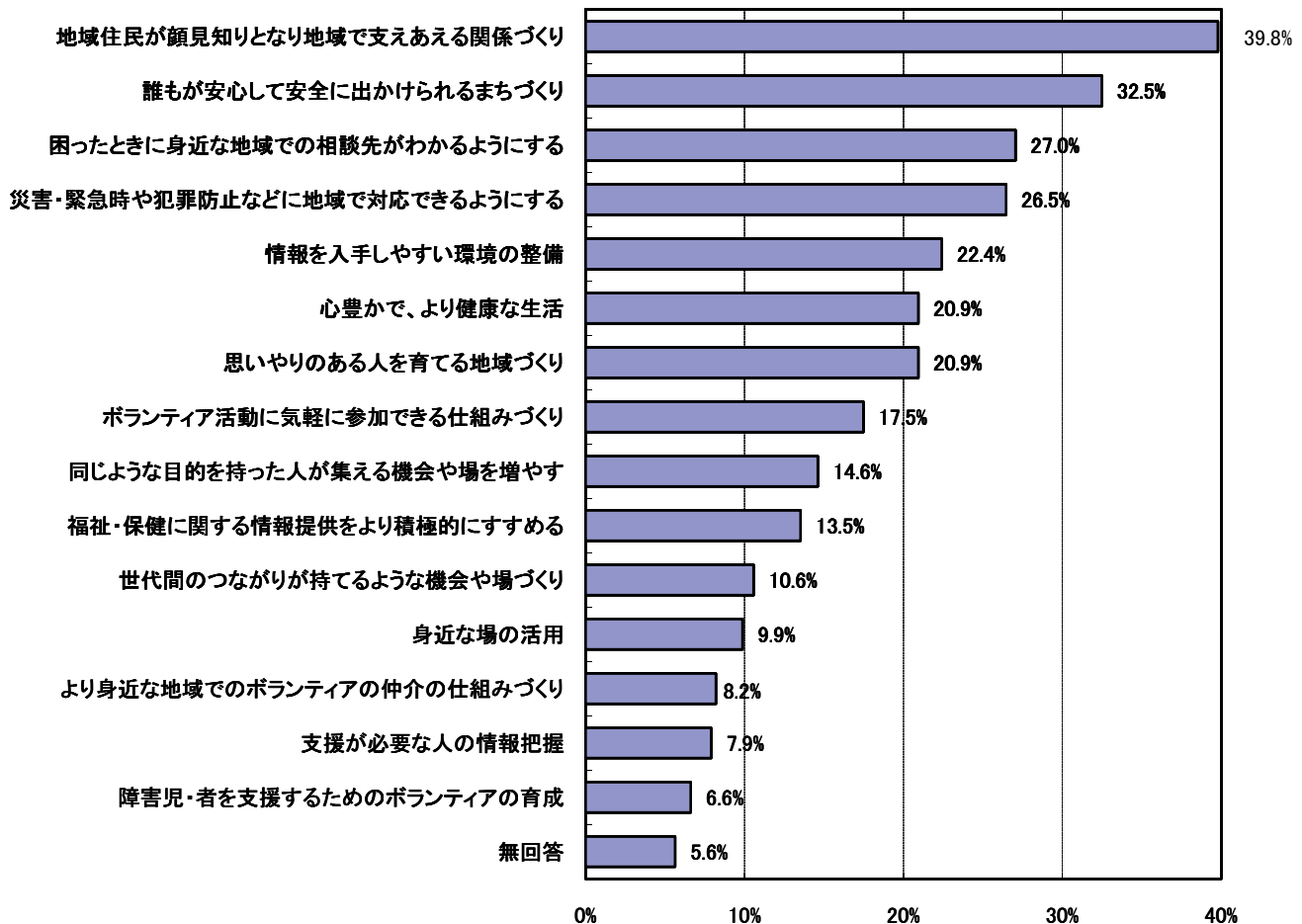
・一人暮らしでも、安心・安全に住めるまちになればよいと思います。（60代女性）

今後、緑区の地域福祉で重点的に取り組む必要があること



- 今後、あなたが緑区地域福祉を考えたときに、重点を置いて取り組む必要があると思われるものをあげてください。〔問32〕

「地域住民が顔見知りとなり地域で支えあえる関係づくり」（基本目標1「つながり」）が約4割と最も多く、次に「誰もが安心して安全にでかけられるまちづくり」（基本目標5「安心・安全・健康」）が約3割となっています。



《区民の声》（自由意見欄から）



・心豊かで健康な生活、誰もが安心して出かけられるようなまちにしたいと思います。そのためには、やはり人と人とのつながりが一番重要だと思います。（30代女性）



・緑区が福祉保健のまちとして、日本全国で感じてもらえるまちづくりを望みます。協力してくれる人はたくさんいると思います。（60代男性）

〔最後に〕

今回の調査結果から、『誰もが安心して暮らし続けられる緑区』をめざすためには、**地域における“人と人とのつながり”**が最も求められていることがわかります。

一方で、『みどりのわ・ささえ愛プラン』の認知度は、「知らない」が約8割（80.9%）という結果です。（「良く知っている」「知っている」「名前は聞いたことがある」の合計は17.7%、「無回答」は1.4%）

区民の皆様から頂いたご意見をふまえ、『みどりのわ・ささえ愛プラン』を中心に、より多くの区民が繋がっていくことができるよう、緑区では引き続き、わかりやすい広報・PRを行うとともに、**第2期計画策定**に取り組んでまいります。

〔アンケートのご協力、ありがとうございます〕

『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート

緑区では、『誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして』～一人ひとりが主役・共に支えあうまちづくり～を基本理念に、緑区地域福祉保健計画・地域福祉活動計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』（平成18年度～平成22年度）を区民の皆様とともに推進しています。次期計画においては、第1期みどりのわ・ささえ愛プランが目標に向かってどの程度、進んだかを検証し、新たに、①緑区全体の計画と、②各地区の特性に応じた地区別計画を策定します。

今回のアンケートは、第1期計画策定から4年経過した現在における、区民の皆様の地域福祉保健に関する意識と、『みどりのわ・ささえ愛プラン』に対するご意見を伺い、平成23年度から始まる第2期計画策定の基礎資料とするために行うものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成21年10月 横浜市緑区長 津田 祐孝



『みどりのわ・ささえ愛プラン』とは・・・

『誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして』～一人ひとりが主役・共に支えあうまちづくり～を基本理念に区民、団体、事業者、社協、区役所が協働で進めていくための計画です。

計画の内容は、5つの基本目標、小目標ごとに具体的な取り組みを示しました。

【5つの基本目標】

1	地域での「つながり」を大切にするまちづくり
2	「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり
3	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
4	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり
5	「安心・安全・健康」のまちづくり

【計画実施期間】



※『みどりのわ・ささえ愛プラン』に関する情報は、緑区ホームページでもご覧いただけます。

みどりのわ・ささえ愛プラン **検索** 緑区ホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/midori/fukuho/>



【回答の前に、裏面の“ご記入いただく上でのお願い”をお読みください。】

ご記入いただく上でのお願い

- アンケート調査の対象者は、20歳以上の緑区民3,000人を無作為に抽出させていただきます。
- この調査票の回答は、これを送付させていただいた **宛名のご本人様** にお願ひします。なお、ご本人様にご記入できない場合は、ご家族などご本人様の状況をご存知の方にご記入をお願いします。
- ご記入にあたっては次の要領をお願いします。
 - (1) 回答は、当てはまる番号に○をつけてください。
 - (2) 質問によっては、「○は1つ」、「○はそれぞれ1つずつ」「◎○は1つずつ」、「当てはまる番号にすべてに○」、といったことわり書きがありますので、回答に注意してください。
 - (3) 回答が、その他に当てはまる場合には、[] に具体的な内容をご記入ください。
 - (4) 具体的な内容、理由、自由意見を求める質問には、回答にご協力ください。
- ご記入いただいた調査票は、**11月2日(月)(消印有効)** までに、同封しました返信用封筒にてご返送ください。
- このアンケート調査についてご不明な点がありましたら次のところまでお問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

緑区役所 福祉保健課 事業企画担当

TEL 930-2304 FAX 930-2355

E-mail: md-fukuho@city.yokohama.jp



※ お答えいただいた内容は本調査の目的以外に使用したり、個人の内容を公表することは一切ありません。

『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート調査票

◆ あなた自身のことについて、お尋ねします。

問1 あなたのお住まいの町はどちらですか。（番地は必要ありません。）

横浜市緑区	(町)	丁目
-------	-----	----

問2 あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

1 男性	2 女性
------	------

問3 あなたの年齢は次のうちのどの区分に属しますか。（○は1つ）（平成21年10月1日現在）

1 20歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳
5 60歳～64歳	6 65歳～69歳	7 70歳～79歳	8 80歳以上

問4 あなたは緑区に生まれてから何年になりますか。（○は1つ）（平成21年10月1日現在）

1 1年未満	2 1年以上～5年未満	3 5年以上10年未満	4 10年以上
--------	-------------	-------------	---------

問5 あなたの現在暮らしているお住まいはどれにあたりますか。（○は1つ）

1 持ち家（戸建て）	2 持ち家（マンション）	3 借家（戸建て）
4 借家（アパート、マンション）	5 借家（市営、公営住宅等）	
6 その他 []	

問6 あなたと一緒に暮らしている方を教えてください。（あてはまる番号にすべて○）

1 祖父	2 祖母	3 父	4 母	5 配偶者	6 兄弟姉妹
7 お子さん	8 孫	9 いない（一人暮らし）	10 その他 []	

問7 あなたご自身の状況で次の項目に該当するものはありますか。（あてはまる番号にすべて○）

1 自分自身が介護認定を受けている	
2 自分自身が障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	
3 家族に65歳以上の方がいる	4 家族に介護認定を受けている方がいる
5 家族に就学前の子どもがいる	6 家族に障害者手帳を持っている方がいる
7 該当なし	

問8 あなたのお仕事の状況は次のどれに該当しますか。（お仕事は、主として就かれているもの）

1 仕事についている（常勤・フルタイム）	2 パート・アルバイト		
3 仕事についていない	4 学生	5 その他 []

◆ 地域でのつながり(地域とのかかわり)について、お尋ねします。

問9 あなたはご自身がお住まいの地域の自治会に加入していますか。(○は1つ)

- 1 加入している
- 2 加入していない



2 加入していないと答えた方は
その理由を差し支えない範囲でご記入ください。

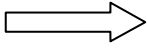
理由

問10 あなたは近隣の人にあいさつや声かけをしていますか。(○は1つ)

- 1 こちらから積極的にしている
- 2 時々している
- 3 向こうから声をかけられたらしている
- 4 まったくしない

問11 あなたは今までに、話し相手や困ったことの手伝いなど地域での助け合いを個人的にしたりされたりしたことがありますか。(○は1つ)

- 1 ある
- 2 ない



1 あると答えた方は
どのような助け合いですか。具体的にご記入ください。

問12 あなたは今後、地域の方(子どもも含めて)とどの程度かかわりたいですか。(○は1つ)

- 1 積極的にかかわりたい
- 2 機会があればかかわりたい
- 3 あまりかかわりたくない
- 4 今は全くかかわりたくない

問12-1

- 1 積極的にかかわりたい
- 2 機会があればかかわりたい

と答えた方はどの程度の関係ですか
(あてはまる番号にすべて○)

- 1 あいさつする
- 2 相談できる
- 3 一緒に活動できる
- 4 その他 []

問12-2

- 3 あまりかかわりたくない
- 4 今はかかわりたくない

と答えた方は その理由を差し支えない範囲でご記入ください。

理由

問13 隣近所で困っている方がいた場合、あなたは、どの程度かかわれる（手助けできる）と思われますか。（○はそれぞれ1つずつ）

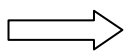
手助け できること	選択肢	積極的に かかわ れる	時々なら かかわ れる	難しい	わからない
(1) 安否確認の声かけ		1	2	3	4
(2) 話し相手		1	2	3	4
(3) 悩み事、心配ごとの相談		1	2	3	4
(4) ちょっとした買い物		1	2	3	4
(5) ちょっとした家事		1	2	3	4
(6) ごみ出し		1	2	3	4
(7) 玄関前、庭等の掃除		1	2	3	4
(8) 短時間の子どもの預かり		1	2	3	4
(9) 子育ての相談		1	2	3	4
(10) 学童の送迎		1	2	3	4
(11) 保育園・幼稚園の送迎		1	2	3	4
(12) 通院の付き添い		1	2	3	4
(13) 病気のときの看病		1	2	3	4
(14) その他 地域で困っている方にかかわ れること(手助けできること) があれば具体的にご記入くだ さい。		[]			

◆ 地域のボランティア活動への参加について、お尋ねします。

ボランティア活動とは・・・「何か地域のための役立ちたい」という自発的な意思と責任のもとで社会貢献を行うことで、個人で行うものや、グループを作ったり、あるいは既存のグループ・団体に所属しての活動等、幅広い範囲の活動をさします。

問14 あなたは地域のボランティア活動にこの近年に1度でも参加したことがありますか。（○は1つ）

1 ある
2 ない



1 あると答えた方は
いつ頃、どのようなボランティア活動ですか。具体的にご記入
ください。
[]

問15 あなたは地域のボランティア活動に参加するとしたら、何が必要だと思われますか。最も必要なものに◎、次に必要なものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)

(回答欄)

1 気軽に参加できる		2 自分の趣味や特技にあっている	
3 交通費などの実費が支払われる		4 多少の金銭的な報酬(交通費以外)	
5 活動時の保険などの補償の整備		6 講習会など学べる環境	
7 その他 []			

問16 あなたが今後、地域のボランティア活動への参加依頼があった場合どうしますか。(○は1つ)

1 積極的に参加したい	2 内容によっては参加したい
3 当番制なら参加したい	4 時々参加したい
5 参加しない	6 わからない
7 その他 []	

◆ 地域のボランティア活動・余暇活動を実施するための施設について、お尋ねします。

問17 あなたは地域のボランティア活動・余暇活動で利用できるものとして次の施設を知っていますか。(あてはまる番号にすべて○)

1 地域ケアプラザ	2 地区センター	3 コミュニティハウス	4 自治会館
5 スポーツセンター	6 福祉保健活動拠点(ハーモニーみどり内)		
7 小学校・中学校の校庭、体育館	8 市民活動支援センター	9 その他 []	

問18 上記問17の施設をより使いやすくするために必要なことは何だと思えますか。最も必要なものに◎、次に必要なものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)

(回答欄)

1 気軽に集まることのできるスペース		2 利用対象者の拡大	
3 利用時間の見直し		4 利用予約方法の簡素化	
5 施設や利用可能な場所の情報		6 その他 []	

◆ 福祉保健に関する情報について、お尋ねします。

問19 あなたは『みどりのわ・ささえ愛プラン』を知っていましたか。次のうちあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

1 よく知っている	2 知っている
3 名前は聞いたことはある	4 知らない

問20 あなたが、知りたいと思う地域の福祉保健に関する情報は次のうちどれですか。最も知りたいものに◎、次に知りたいものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)		(回答欄)	
1 健康づくりの情報		2 高齢者のための情報	
3 ボランティア活動の情報		4 子育ての情報	
5 講座や教室等の情報		6 保健・福祉イベントの情報	
7 障がい者のための情報		8 各種相談窓口についての情報	
9 その他 []			

問21 あなたにとって地域の福祉保健の身近な相談相手は誰ですか。最も身近な相談相手に◎、次に身近な相談相手に○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)		(回答欄)	
1 家族・親戚		2 友人・知人	
3 近所の親しい人		4 民生委員・児童委員	
5 保健活動推進員		6 身近な施設の相談員	
7 病院や薬局の人		8 区役所職員	
9 区社会福祉協議会職員		10 地域ケアプラザ職員	
11 その他 []			

問22 あなたは、地域の福祉保健に関する情報をどのような手段で得ることが多いですか。最も多いものに◎、次に多いものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)		(回答欄)	
1 広報よこはま		2 緑区社協だより	
3 自治会の回覧板		4 ホームページ	
5 公共施設の窓口		6 自治会の掲示板	
7 口コミ		8 新聞・雑誌	
9 テレビ・ラジオ		10 ミニコミ誌	
11 その他 []			

問23 あなたは、地域の福祉保健に関する情報を知りたいときに、容易に手に入れることができると思いますか。次のうちあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

1 できる	2 できない	3 どちらともいえない
-------	--------	-------------

問24 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員としてあなたが知っているものは次の中でどれですか。(あてはまる番号にすべて○)

1 区役所(区福祉保健センター)	2 区社会福祉協議会	3 地域ケアプラザ
4 地区社会福祉協議会	5 自治会長	6 民生委員・児童委員
7 主任児童委員	8 保健活動推進員	9 友愛活動推進員
10 食生活等改善推進員	11 地域子育て支援拠点いっぼ	
12 みどり地域活動ホームあおぞら	13 緑区生活支援センター	14 保育園
15 その他 []		

◆ 地域の安心・安全・健康について、お尋ねします。

問 2 5 あなたが日頃、防災に関して配慮していることは何ですか。最も配慮しているものに◎、次に配慮しているものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)

(回答欄)

1 避難袋の準備点検		2 水・食糧の備蓄 (3日間程度)	
3 家具の転倒防止対策		4 防災訓練や避難訓練への積極的参加	
5 家族で災害時連絡方法等を決めている		6 近所で助けが必要な人を把握している	
7 広域避難場所について確認している		8 その他 []	

問 2 6 あなたは市立小学校、中学校が地域防災拠点となっていることを知っていますか。(○は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 2 7 あなたは緑区の災害時要援護者把握のための「防災ささえあいカード」の取り組みを知っていますか。(○は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 2 8 あなたは「災害時に住民がささえあう地域づくり」には何が必要だと思われますか。最も必要なものに◎、次に必要なものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)

1 自主防災組織づくり	
2 地域の高齢者などがどこに住んでいるか一目でわかる「マップ(地図)」の作成	
3 地域での定期的な防災訓練	
4 地域やグループなどでの勉強会	
5 福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	
6 その他 []	

問 2 9 あなたが日頃から健康のために心がけていることはありますか。(あてはまる番号にすべて○)

1 お酒を飲み過ぎない(又は飲まない)	2 タバコを吸い過ぎない(又は吸わない)
3 適度な運動をする	4 年に1回健康診断を受ける
5 バランスを考えた食事をする	6 規則正しい生活をする
7 適正体重を維持する	8 適度な休養をとる
9 食後の歯磨きをする	10 ストレスをためない
11 その他 []	

問 3 0 あなたがご自身の健康のために、身近にどのような活動があれば参加したいと思われますか。(あてはまる番号にすべて○)

1 体力測定・健康チェック	2 健康づくり体操	3 ウォーキング
4 健康レシピによる調理実習	5 禁煙教室(禁煙相談)	6 健康づくりに関する講演会
7 運動交流などのイベント	8 その他 []	
9 参加したい活動はない		

◆ 緑区の地域福祉の現状とこれからの取り組みについて、お尋ねします。

問3 1 第1期みどりのわ・ささえ愛プラン（平成18年度～平成22年度）では、5つの基本目標を設定し15の小目標を推進しています。あなたは、策定前の4年前（平成17年頃）と比べて、個々の取り組みは、どの程度進んでいると思われますか。（○はそれぞれ1つつ）

基本目標		選 択 肢		進んで いる	ある程 度進ん でいる	どちら ともい えない	あまり 進んで いない	進んで いない	わから ない
		小 目 標							
基本目標1	つながり	(1) 地域住民が顔見知りとなり地域で支えあえる関係づくり		1	2	3	4	5	6
基本目標2	人材・担い手	(2) より身近な地域でのボランティアの仲介の仕組みづくり		1	2	3	4	5	6
		(3) ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくり		1	2	3	4	5	6
		(4) 障がい児・者を支援するためのボランティアの育成		1	2	3	4	5	6
		(5) 思いやりのある人を育てる地域づくり		1	2	3	4	5	6
基本目標3	機会・場	(6) 身近な場の活用		1	2	3	4	5	6
		(7) 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やす		1	2	3	4	5	6
		(8) 世代間のつながりがもてるような機会や場づくり		1	2	3	4	5	6
基本目標4	情報	(9) 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにする		1	2	3	4	5	6
		(10) 福祉・保健に関する情報提供をより積極的にすすめる		1	2	3	4	5	6
		(11) 情報を入手しやすい環境の整備		1	2	3	4	5	6
		(12) 支援が必要な人の情報把握		1	2	3	4	5	6
基本目標5	安心・安全・健康	(13) 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるようにする		1	2	3	4	5	6
		(14) 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくり		1	2	3	4	5	6
		(15) 心豊かで、より健康な生活		1	2	3	4	5	6

問3 2 問3 1における第1期みどりのわ・ささえ愛プランの15の小目標の中で、今後、あなたが緑区の地域福祉を考えたときに、重点を置いて取り組む必要があると思われるものを上位3つまであげてください。最も必要なものに◎、2番目に必要なものに○、3番目に必要なものに△をつけてください。
(◎○△は1つずつ)

(回答欄)

1	地域住民が顔見知りとなり地域で支えあえる関係づくり	
2	より身近な地域でのボランティアの仲介の仕組みづくり	
3	ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくり	
4	障がい児・者を支援するためのボランティアの育成	
5	思いやりのある人を育てる地域づくり	
6	身近な場の活用	
7	同じような目的をもった人が集える機会や場を増やす	
8	世代間のつながりがもてるような機会や場づくり	
9	困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにする	
10	福祉・保健に関する情報提供をより積極的にすすめる	
11	情報を入手しやすい環境の整備	
12	支援が必要な人の情報把握	
13	災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるようにする	
14	誰もが安心して安全に出かけられるまちづくり	
15	心豊かで、より健康な生活	

問3 3 あなたが、①緑区の10年後を考えたときに、ご自身でイメージする福祉保健のまちづくりにとって大切だと感じていることと、②その他、『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区政に対して、日頃、感じていることや疑問に思っていることがあれば、ご意見をお聞かせください。

(自由意見欄)

① 緑区の10年後をイメージしたときに、福祉保健のまちづくりにとって大切だと感じていること

② その他、『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区政に対して、日頃、感じていることや疑問に思っていること

ご協力ありがとうございました。

Ⅶ 資料

1 緑区地域福祉保健計画・緑区地域福祉活動計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」推進策定委員会規約

制定 平成 18 年 5 月 18 日 緑福第 274 号
最近改正 平成 21 年 5 月 18 日 緑福第 251 号

(目的)

第 1 条 この規約は、緑区地域福祉保健計画・緑区地域福祉活動計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」(以下、「計画」という。)の推進を目的に設置する緑区地域福祉保健計画・地域福祉活動計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」推進策定委員会(「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」と呼称し、以下「推進策定委員会」という。)に必要な事項を定める。

(所掌事務)

第 2 条 推進策定委員会は、緑区地域福祉保健推進会議の専門部会として、次に掲げる事項を協議する。

(1) 現計画について

- ア 計画の進行管理と評価に関すること
- イ 計画実践の支援に関すること
- ウ その他計画推進に関すること

(2) 次期計画について

- ア 計画の策定に関すること

(組織)

第 3 条 推進策定委員会は 25 人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者、福祉保健活動団体・事業者からの代表及び一般区民の中から区長が委嘱する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、3 年とする。ただし、委員が任期の途中で交代した場合、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 推進策定委員会には委員長及び副委員長を置き、委員長は委員の互選によって定める。また副委員長は委員長の指名によって定める。

2 委員長は、推進策定委員会を代表し、会議の議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代理する。

(会議)

第 6 条 推進策定委員会は、必要に応じて委員長が招集する。ただし、第 1 回推進委員会は区長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席により成立する。

(分科会)

第 7 条 推進策定委員会は、具体的な計画の推進や課題の検討などを行うため、分科会を設置することができる。

(守秘義務)

第 8 条 推進策定委員会委員及び分科会員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(庶務)

第 9 条 推進策定委員会にかかる庶務は、緑区役所福祉保健課及び緑区社会福祉協議会において処理する。

(その他)

第 10 条 この規約に定めるもののほか、推進委員会に関し必要な事項は、委員長が推進委員会に諮って定める。

附 則

この規約は、平成 18 年 6 月 7 日から施行する。

附 則

この規約は、平成 20 年 9 月 1 日から施行する。

附 則

この規約は、平成 21 年 5 月 18 日から施行する。

2 「みどりのわ・ささえ愛プラン」地区別計画策定委員会規約

制定 平成22年1月27日 緑福第1559号

(目的)

第1条 この規約は、緑区地域福祉保健計画・緑区地域福祉活動計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」において、平成23年度から実施する地区別計画（以下「地区別計画」という。）の策定と推進を目的に設置する「みどりのわ・ささえ愛プラン」地区別計画策定委員会（以下「委員会」という。）に必要な事項を定める。

(定義)

第2条 地区別計画とは、「みどりのわ・ささえ愛プラン」の「基本目標」等に沿って、日常生活に連動した課題などに対する地区の取り組みをまとめたものをいう。

(所掌事務)

第3条 委員会は、地区別計画の策定と推進のために、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 地区別計画の内容について
- (2) 地区別計画推進のための方策について
- (3) その他地区別計画に関すること

(組織)

第4条 委員会は、緑区内11 1 連合自治会・地区社会福祉協議会ごとに設置する。

2 委員会は原則として20人以内をもって組織する。

3 委員は、連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、地域の活動団体からの代表及び公募等、地区の実情に合わせて選出する。

(任期)

第5条 委員の任期は、平成23年3月31日までとする。ただし、委員が任期の途中で交代した場合、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び連絡担当者)

第6条 委員会には委員長及び連絡担当者を置く。

2 委員長は、委員会を代表し、会議の議長となる。

3 連絡担当者は地区別計画策定連絡会に出席し、情報交換を行うとともに委員会へ情報を伝達する。

(会議)

第7条 委員会は、必要に応じて委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席により成立する。

(守秘義務)

第8条 地区別計画策定委員は、委員会を通して知り得た個人の情報等には万全の注意を払うとともに、それを漏らしてはならない。

(その他)

第9条 この規約に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮り定める。

附 則

この規約は、平成22年1月27日から施行し、平成21年10月20日から適用する。

緑区地域福祉保健計画・地域福祉活動計画

「みどりのわ・ささえ愛プランー地域での取り組み概況〈平成 21 年度版〉ー」

平成 22 年（2010 年）3 月発行


編集・発行

横浜市緑区役所 福祉保健課 事業企画担当

住所：〒226-0013 緑区寺山町 118

電話：045-930-2304 F A X：045-930-2355


E-Mail：md-fukuhoplan@city.yokohama.jp

HP：[横浜市緑区役所](#) **検索** または [みどりのわ・ささえ愛プラン](#) **検索**  クリック！

社会福祉法人 横浜市緑区社会福祉協議会

住所：〒226-0011 緑区中山町 413-4

電話：045-931-2478 F A X：045-934-4355

E-Mail：info@midori-shakyo.jp HP：[緑区社協](#) **検索**  クリック！